

委員会報告 平成26年度消化器がん検診全国集計

I. 胃がん検診全国集計 II. 大腸がん検診全国集計 III. 超音波検診全国集計 IV. 食道がん検診全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会

顧問：北川 晋二
委員：水口 昌伸，宮川 国久，入口 陽介，大泉 晴史，
大黒 隆司，小川 眞広，小林 正夫，丹羽 康正，
藤谷 幹浩，松浦 隆志
協力：平井 都始子（超音波検診委員会委員長）

はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は、今回でその32回目にあたる。平成26年度の調査は、平成26年4月に腹部超音波検診判定マニュアルが公表されたことを受け、超音波検診の詳細な集計に変更された。

I 胃がん検診全国集計成績

1. 胃がん検診全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると、検診の統計をよく行っているI群の割合は、366カ所中328カ所（89.6%）であった（表1）。

平成26年度の受診者総数は、6,682,592人で、発見胃癌の実数は5,041例（0.075%）であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数8,004例（0.120%）であった（表2）。

胃がん検診の受診者総数の年次別推移をみると、図1に示すように平成26年度の受診者総数は、前年度と比べ約9.4万人、1.4%減少した。

2. 撮影方法

胃X線撮影法について検診機関数を分母にして

みると、撮影枚数が6枚の機関はなく、7枚が3.6%、8枚以上が94.8%で、増加傾向を示し、学会の勧告した標準枚数がかなり定着していると考えられた（図2-a）。200%以上のバリウムを用いている施設は、88.2%を占めていた（図2-b）。バリウムの量は、131～150mlが最も多く使われており、少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた（図2-c）。バリウムの濃度と量の関係を図2-dに示すが、負の相関を示した。

撮影者については、医師が撮影する機関は2.2%、技師が行う機関は91.8%、両者が4.1%であった（図2-e）。

3. 読影状況

読影状況についてみると、ダブルチェックを行っていない機関が9.0%あった（図3-a）。認定医の有無についてみると、67.2%に学会認定医がいるという状況であった（図3-b）。

4. 精検以後の管理

精検以後の管理の方法について述べると、精検の実施方法では、X線検査であるものの6.6%、内視鏡検査であるものの84.7%、X線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは0.5%であった。要精

表1 胃がん検診全国集計対象機関の区分（平成26年度）

	機関数	
	X線造影がん検診 ¹⁾	
I 群 性・年齢別に受診者、要精検者、精検受診者、発見胃癌患者が把握され、且つ癌患者の個人票の揃っているもの	328	(89.6%)
II 群 性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	38	(10.4%)
計	366	

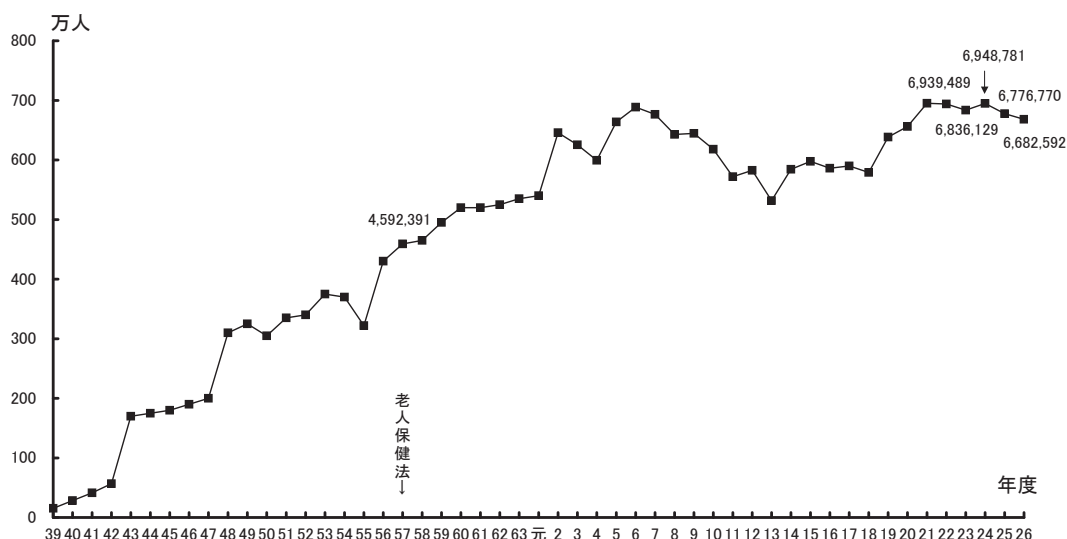
(注): 1)X線造影検査法による胃がん検診のこと

表2 対象機関別受診者数と発見胃癌数
(平成26年度, 男女計, 胃X線対象区分の合計)

区分	受診者数	発見胃癌数 (実数)	率	(推定数)	(推定率)
I 群	6,410,122	5,034	0.079 %	7,660	0.119 %
II 群	272,470	7	0.003 %	160	0.059 %
総計	6,682,592	5,041	0.075 %	8,004	0.120 %

* 推定率は各群の精検受診率(I 群65.7%、II 群4.4%)を100とした場合、未受診者も受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

図1 胃がん検診の年度別集計対象数の推移（昭和39年度～平成26年度学会による全国集計）



検者に対する受診勧奨をしているのは93.1% (図4-b), 精検結果の把握をしているところは87.7% (図4-c), 精検未受診者への受診勧奨

を行っているのは69.9% (図4-d), 発見胃癌患者への治療の勧奨を積極的に進めているところは59.3% (図4-e), 手術結果の調査をしてい

図2 撮影方法

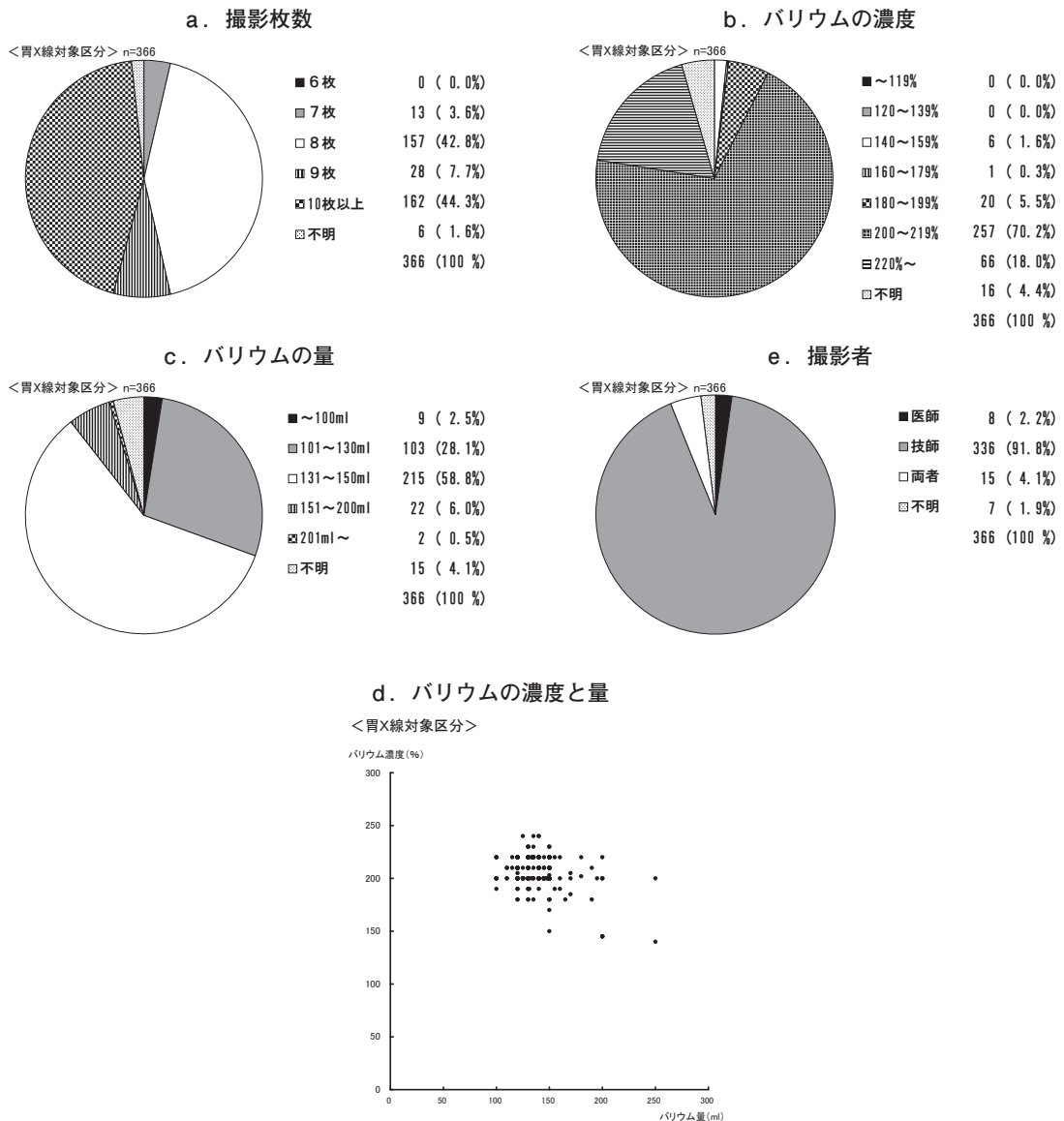


図3 読影状況

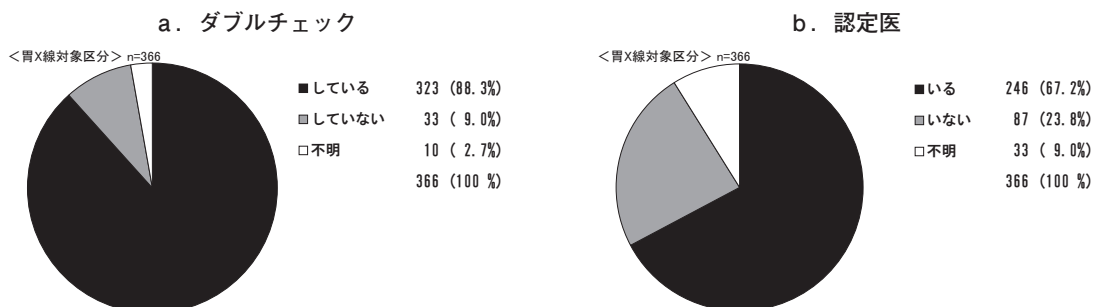


図4 精検以後の管理

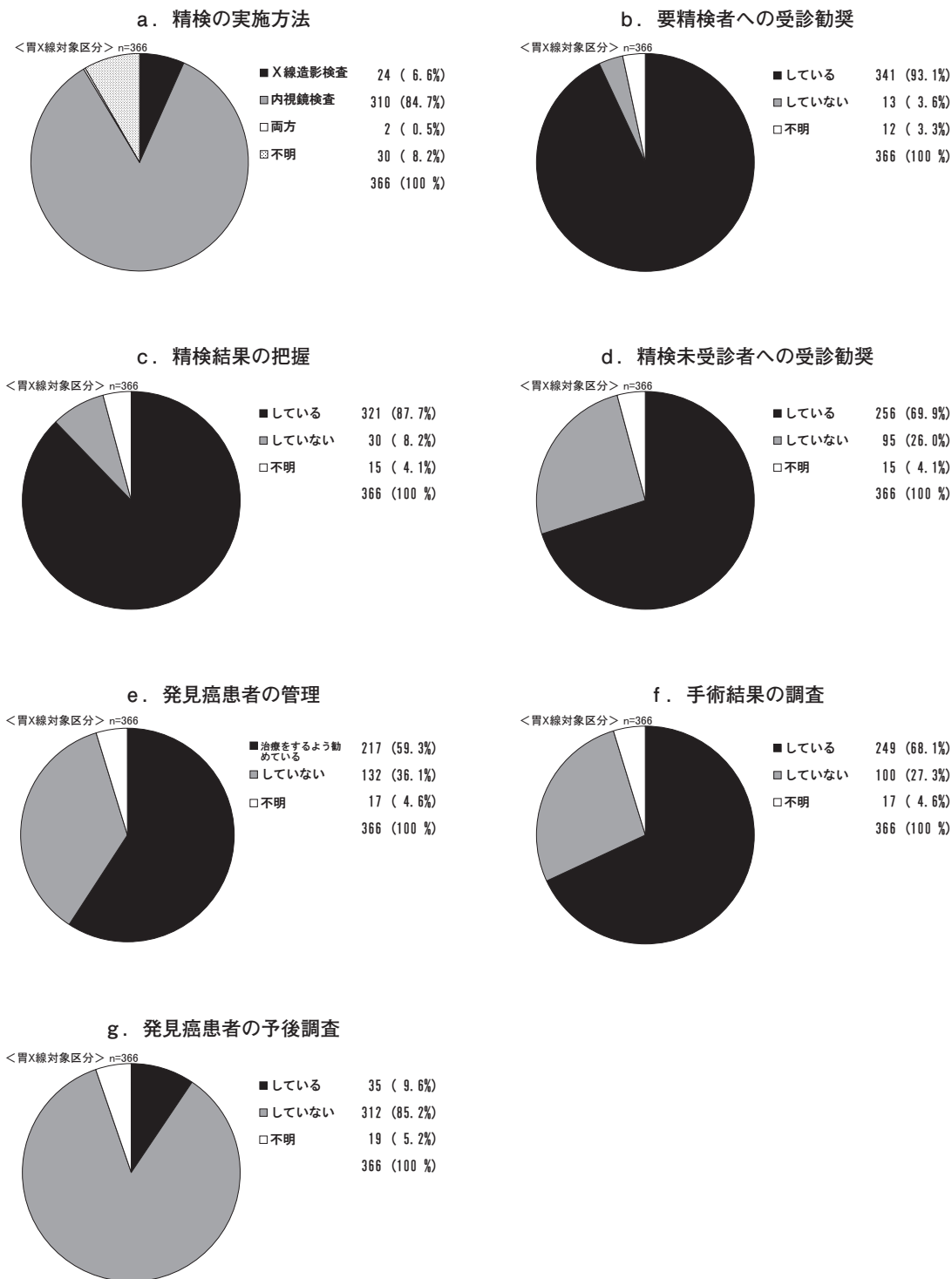
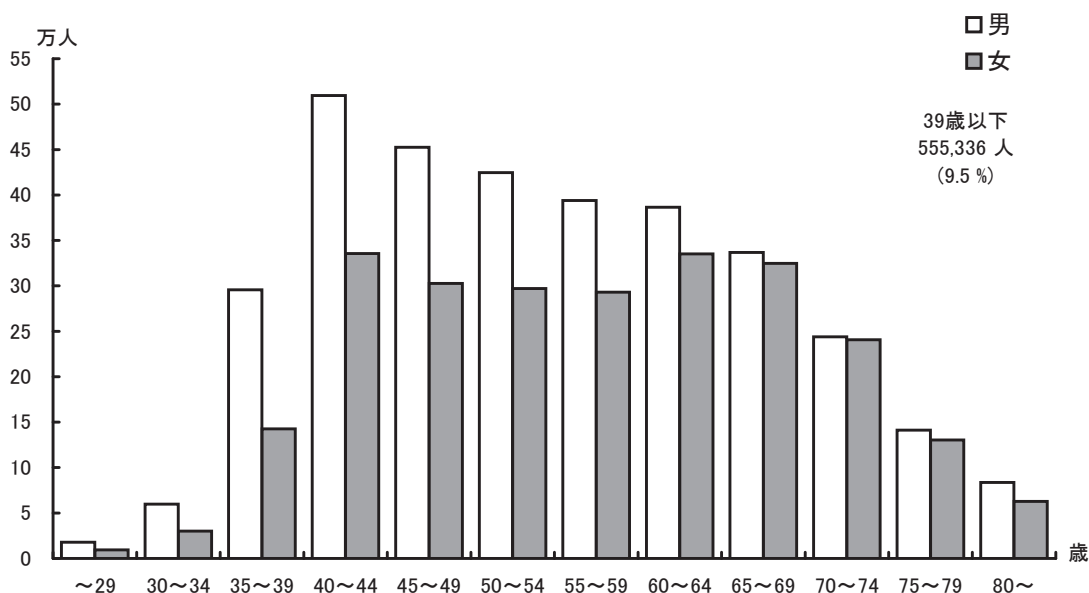


表3 地域・職域・その他検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 胃X線対象区分がん検診, 男女合計, 平成26年度)

	地域検診	職域検診	その他	計
検 診 数	2,499,553	3,623,474	559,565	6,682,592
要 精 検 者 数	203,574	197,794	26,715	428,083
要 精 検 率	8.1 %	5.5 %	4.8 %	6.4 %
精検受診者数	165,177	89,458	14,987	269,622
精 検 受 診 率	81.1 %	45.2 %	56.1 %	63.0 %
発 見 胃 癌 数	3,669	1,086	286	5,041
発 見 率	0.147 %	0.030 %	0.051 %	0.075 %

図5 性・年齢階級別受診者数 (平成26年度)
(地域, 職域, その他合計)



るところは68.1% (図4-f), またその予後調査をしているところは9.6%であった(図4-g)。

5. 地域・職域検診別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると, 地域検診が2,499,553人, 職域検診が3,623,474人で前者が37.4%を占めていた。地域検診と職域検診との精検受診率を比較してみると, 各々81.1%と45.2%であり, 両者に著しい差が認められ, 職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられ

た。その結果, 後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいまって, 職域検診での胃癌発見率は0.030%と, 地域検診の0.147%の約5分の1であった(表3)。

6. 性・年齢階級別受診者数および疾患発見率

地域, 職域, その他がん検診を合計した性・年齢階級別の受診者数を図5に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.108%, 女で0.050%, 男が女の2倍以上の発見

表4 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—男性—胃X線対象区分, 地域・職域・その他合計 (平成26年度)

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	3,353,273	17,843	59,786	295,590	509,521	452,554	424,675	393,950	386,579	336,767	243,846	141,284	83,549	7,329
B 要精検者数	243,986	361	1,560	9,053	20,277	22,744	27,702	33,124	39,311	36,665	26,562	15,965	9,708	954
B/A %	7.28 %	2.02 %	2.61 %	3.06 %	3.98 %	5.03 %	6.52 %	8.41 %	10.17 %	10.89 %	10.89 %	11.30 %	11.62 %	13.02 %
C 精検受診者数	150,981	167	733	4,270	10,041	11,160	14,021	17,490	23,373	26,421	21,132	13,417	8,089	667
C/B %	61.88 %	46.26 %	46.99 %	47.17 %	49.52 %	49.07 %	50.61 %	52.80 %	59.46 %	72.06 %	79.56 %	84.04 %	83.32 %	69.92 %
D 胃癌	3,613	0	0	6	45	53	143	277	491	826	764	562	428	18
D/A %	0.108 %	0.000 %	0.000 %	0.002 %	0.009 %	0.012 %	0.034 %	0.070 %	0.127 %	0.245 %	0.313 %	0.398 %	0.512 %	0.246 %
非上皮性悪性腫瘍	61	0	0	2	5	2	4	0	7	14	11	9	6	1
胃腺腫(異型上皮)	632	0	0	0	2	6	16	36	94	140	125	121	89	3
胃ポリープ	16,453	11	87	485	1,138	1,274	1,504	1,731	2,308	2,720	2,404	1,668	1,041	82
胃潰瘍	19,035	8	45	405	1,088	1,357	1,904	2,708	3,563	3,505	2,332	1,287	768	65
その他の胃良性疾病患	76,750	81	313	1,904	4,728	5,392	6,926	8,758	12,058	13,886	11,330	6,988	4,038	348
異常なし	21,577	47	196	985	1,990	1,911	2,265	2,457	3,040	3,232	2,530	1,743	1,100	81

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表5 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—女性—胃X線対象区分, 地域・職域・その他合計 (平成26年度)

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,511,028	9,464	30,059	142,594	335,594	302,606	296,992	293,042	335,188	324,725	240,650	130,460	62,808	6,846
B 要精検者数	138,980	181	760	3,984	11,583	11,717	14,112	16,212	21,909	23,208	18,468	10,613	5,577	656
B/A %	5.53 %	1.91 %	2.53 %	2.79 %	3.45 %	3.87 %	4.75 %	5.53 %	6.54 %	7.15 %	7.67 %	8.14 %	8.88 %	9.58 %
C 精検受診者数	105,272	92	421	2,261	7,411	7,417	9,380	11,496	17,017	19,277	15,962	9,246	4,768	524
C/B %	75.75 %	50.83 %	55.39 %	56.75 %	63.98 %	63.30 %	66.47 %	70.91 %	77.67 %	83.06 %	86.43 %	87.12 %	85.49 %	79.88 %
D 胃癌	1,245	0	3	13	29	36	56	92	188	257	244	202	117	8
D/A %	0.050 %	0.000 %	0.010 %	0.009 %	0.009 %	0.012 %	0.019 %	0.031 %	0.056 %	0.079 %	0.101 %	0.155 %	0.186 %	0.117 %
非上皮性悪性腫瘍	54	0	0	1	0	1	7	5	10	15	4	5	5	1
胃腺腫(異型上皮)	256	0	0	2	5	4	3	7	34	61	54	53	32	1
胃ポリープ	20,608	15	100	654	2,228	1,895	2,066	2,033	2,943	3,324	2,752	1,630	885	83
胃潰瘍	6,199	3	12	65	287	363	568	823	1,093	1,157	896	565	328	39
その他の胃良性疾病患	52,065	38	182	829	2,809	3,127	4,248	5,740	8,904	10,272	8,623	4,720	2,320	253
異常なし	17,573	30	88	538	1,549	1,506	1,733	1,973	2,728	2,895	2,326	1,387	742	78

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

図6 地域検診の年齢階級別受診者数 (平成26年度) (胃X線対象区分, 男女合計)

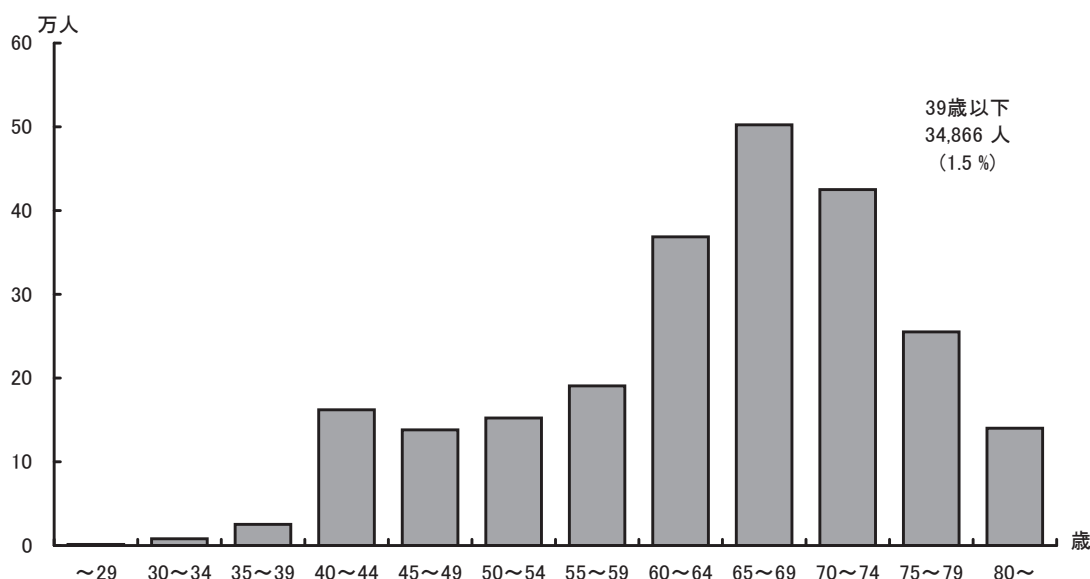


図7 職域検診の年齢階級別受診者数（平成26年度）（胃X線対象区分，男女合計）

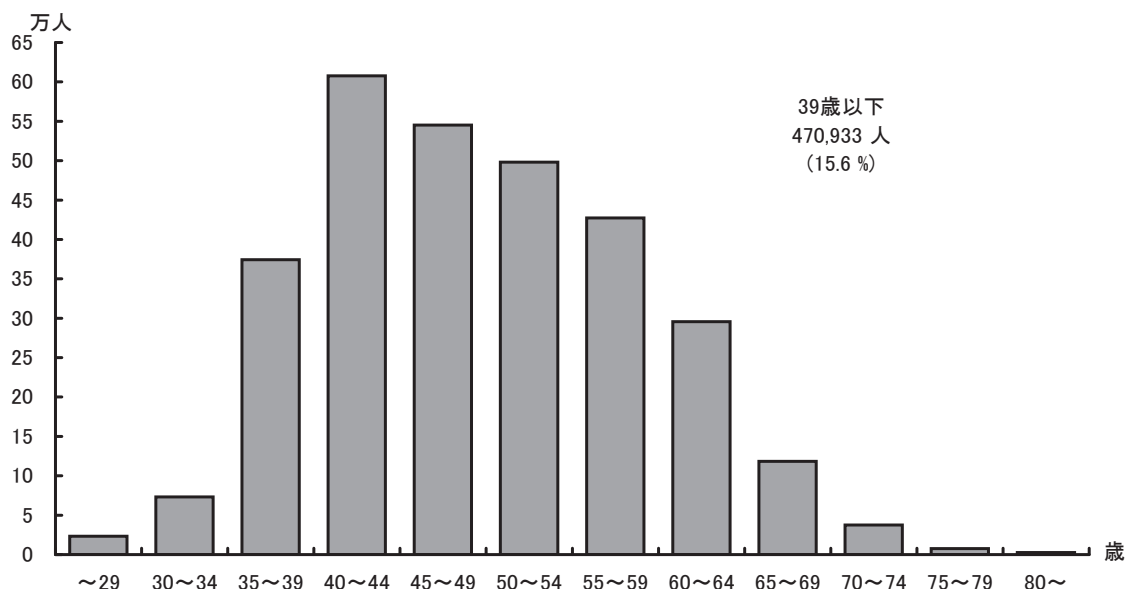


表6 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

年 度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
胃疾患								
胃 癌								
A	5,304	4,732	4,790	5,272	4,984	5,057	5,001	4,862
B	7,623	6,938	6,976	8,046	7,663	7,831	7,596	7,268
B/C	0.15	0.14	0.15	0.14	0.13	0.13	0.13	0.12
胃ポリープ								
A	51,438	46,397	43,350	49,603	46,407	44,693	40,449	37,220
B	73,926	68,031	63,137	75,707	71,351	69,206	61,435	55,635
B/C	1.42	1.33	1.33	1.30	1.21	1.15	1.04	0.94
胃潰瘍								
A	33,399	30,760	31,218	32,873	32,067	29,509	26,548	25,334
B	48,001	45,103	45,468	50,172	49,304	45,694	40,322	37,868
B/C	0.92	0.88	0.96	0.86	0.83	0.76	0.68	0.64
受診者総数	5,221,232	5,125,322	4,755,413	5,837,975	5,920,600	5,994,971	5,887,024	5,932,107

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした

A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

率であった。胃ポリープは男が0.49%，女が0.82％で，逆に女の方が1.7倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が0.57％，女が0.25％で，男が2.3倍であった（表4，5）。

39歳以下の受診者は男女あわせて約56万人おり，これは全受診者数の9.5％を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると，地域検診では39歳以下は男女あわせて1.5％であった。一方，職域検診では39歳以下が15.6％と，若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ，約10倍高かった

（図6，7）。

7. 発見疾患の年次推移

表6は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は，性別，5歳階級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち，Aは発見実数，Bは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で，B／Cは推定発見率である。平成26年度の推定発見率は，胃癌0.12％，胃ポリープ0.94％，

表7 治療方法（平成26年度）

総 数	3,777
外 科 手 術	1,259
腹腔鏡下手術	963
内視鏡的治療	1,314
化 学 療 法	87
無 治 療	40
そ の 他	37
不 明	77

表8 手術の種類（平成26年度）

総 数	2,195
切 除 術	2,157
ポリープ摘除術	2
吻 合 術	8
単 開 腹	6
造 瘻	0
不 明	22

表9 腫瘍の遺残（R）（平成26年度）

総 数	2,089
RX	212
R0	1,423
R1	36
R2	32
不 明	386

表10 癌病巣の数（平成26年度）

単 発	3,248
2 個	306
3 個	51
4個以上	27
不 明	92
合 計	3,724

表11 発見胃癌の占居部位Ⅰ（平成26年度）

部 位	病巣数	%
U	566	15.4
UM	137	3.7
MU	116	3.2
M	1,337	36.2
ML	227	6.2
LM	118	3.2
L	1,145	31.1
全 体	35	1.0
合 計	3,681	100.0

表12 発見胃癌の占居部位Ⅱ（平成26年度）

部 位	病巣数	%
小 彎	1,442	39.7
大 彎	642	17.7
前 壁	599	16.5
後 壁	836	23.0
全 周	111	3.1
合 計	3,630	100.0

表13 発見胃癌の大きさ（平成26年度）

長径(cm)	病巣数	%
～1.0	546	16.1
1.1～2.0	875	25.8
2.1～5.0	1,466	43.3
5.1～	503	14.8
合 計	3,390	100.0

胃潰瘍0.64%であった。年度別の変化をみると胃ポリープと胃潰瘍の発見率は減少していた。

8. 発見胃癌患者の追跡調査

1) 手術成績

表14 切除胃癌の深達度別頻度（平成26年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,501 (100.0 %)	1,731 (49.5 %)	864 (24.7 %)	301 (8.6 %)	323 (9.2 %)	253 (7.2 %)	29 (0.8 %)
M + SM		MP + SS + SE + SI				
2,595 (74.2 %)		906 (25.8 %)				

表15 Stage分類（平成26年度）

Stage	例 数	%
I A	2,341	65.1
I B	304	8.5
II A	214	5.9
II B	157	4.4
III A	124	3.4
III B	101	2.8
III C	60	1.7
IV	113	3.1
不明	185	5.1
計	3,599	100.0

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると、外科手術は3,777例中1,259例（33.3%）、腹腔鏡下手術は963例（25.5%）、内視鏡的治療は1,314例（34.8%）に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は年々増加していた（表7）。手術の種類では2,195例中2,157例（98.3%）に切除術が施行され、治癒切除は不明を除くと95.4%を占めた（表8, 9）。多発癌は3,724例中384例（10.3%）を占めていた（表10）。

2) 占居部位

発見胃癌のUML区分でみた占居部位は、Uが19.1%、Mが45.6%、Lが34.3%であった（表11）。壁在性でみると小彎が39.7%で最も多く、次いで後壁が23.0%で、前年度とほぼ同様な傾向

表16 肉眼分類（平成26年度）

肉眼分類	例 数	%
0型	2,724	74.5
1型	98	2.7
2型	378	10.3
3型	309	8.4
4型	79	2.2
5型	71	1.9
計	3,659	100.0

表17 0型（表在型）の亜分類（平成26年度）

肉眼分類	例 数	%
I	147	5.4
II a	587	21.6
II a+II c	300	11.1
II b	61	2.2
II c	1,349	49.6
II c+III	39	1.4
II c+II a	80	2.9
III+II c	14	0.5
III	14	0.5
その他の組み合わせ	99	3.6
不明	34	1.2
計	2,724	100.0

がみられた（表12）。

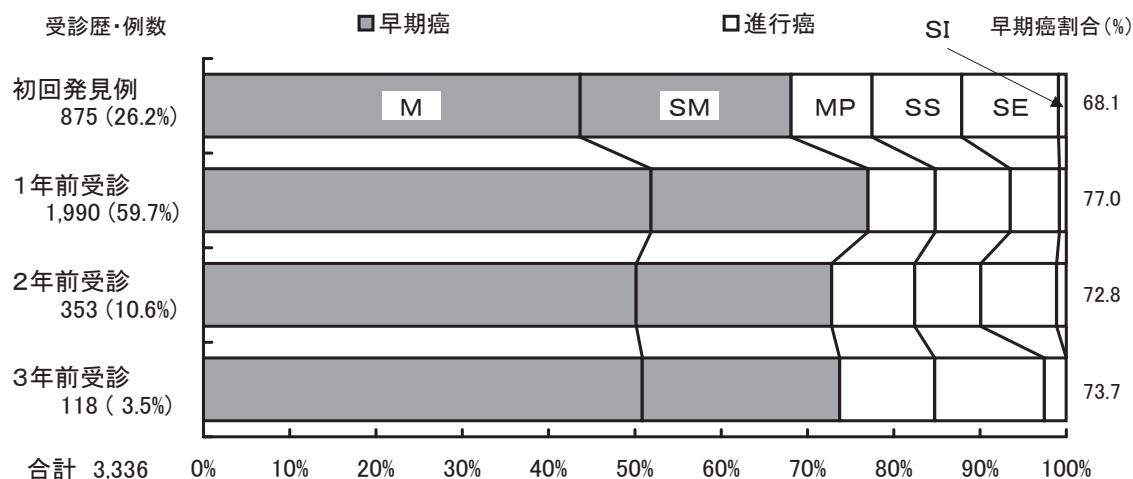
3) 大きさ

長径1cm以下の小胃癌が16.1%、1.1～2.0cmが25.8%で、あわせて41.9%であった（表13）。

4) 切除胃癌の深達度別割合

切除胃癌の深達度別頻度をみると、M癌が49.5

図8 発見胃癌例の検診受診歴と早期癌の頻度（平成26年度）

表18 内視鏡胃がん検診の全国集計成績
(平成26年度)

受診者総数	541,243 人
男	305,067 人 (56.4%)
女	236,176 人 (43.6%)
発見疾患と発見率	
胃癌	1,039 (0.19%)
(うち早期癌 657名)	(0.12%)
胃潰瘍	14,640 (2.70%)
胃ポリープ	93,478 (17.27%)

(年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計)

表19 大腸がん検診全国集計対象機関の区分
(平成26年度)

	機関数
I 群 性・年齢別に受診者、要精検者、精検受診者、発見大腸癌患者が把握され、且つ癌患者の個人票の揃っているもの	262
II 群 性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	35
計	297

表20 大腸がん検診の対象（重複回答）
(平成26年度)

地域	職域	その他	検診機関数
227 (76.4%)	232 (78.1%)	135 (45.5%)	297

表21 大腸がん検診のScreeningの方法
(平成26年度)

(1) 検便法	182 (61.3%)
(2) 検便法＋問診	145 (48.8%)
(3) 直接法	33 (11.1%)
検診機関数	297

%, SM癌が24.7%, あわせて74.2%であり, 検診発見胃癌の約3/4は早期癌であった(表14)。

5) Stage分類

Stage I Aは65.1%と約2/3を占め, Stage IVは3.1%であった(表15)。

6) 肉眼分類

0型(表在型)が74.5%と最も多く, そのうちIIc型が49.6%と半数を占めた。4型は2.2%であった(表16, 17)。

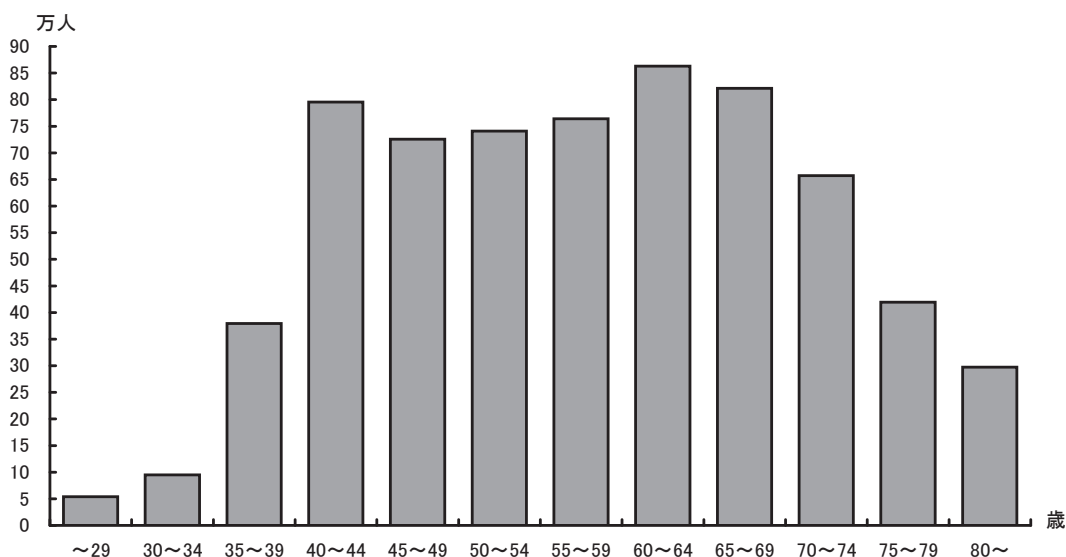
7) 発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,336例について, 集検受診歴区分でみると, 初回発見例が全胃癌のうち26.2%を占め, 1年前受診例, 即ち2年連続受診で発見されたものが59.7%を占めた(図8)。

各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると, 初回発見例が68.1%で, 1年前, 2年前, 3年前の早期胃癌の割合は各々77.0%, 72.8%,

表22 大腸がん検診成績（男女計，平成26年度）

	地域	職域	その他	計
(1)受診者数	3,490,133	3,631,750	740,954	7,862,837
(2)要精検者数 (2)÷(1) (%)	251,478 (7.2 %)	190,056 (5.2 %)	43,335 (5.8 %)	484,869 (6.2 %)
(3)精検受診者数 (3)÷(2) (%)	180,117 (71.6 %)	65,859 (34.7 %)	22,685 (52.3 %)	268,661 (55.4 %)
(4)大腸癌患者数 (4)÷(1) (%)	7,848 (0.225 %)	1,727 (0.048 %)	711 (0.096 %)	10,286 (0.131 %)

図9 大腸がん検診受診者数の年齢階級別分布
(地域，職域，その他，男女計，平成26年度，総数6,612,057名)

73.7%であった。一年前に受診歴のある例では、受診歴のない例に対して、統計学的有意差をもって、早期癌を高率に認めた（図8）。

9. 内視鏡胃がん検診の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた、いわゆる内視鏡胃がん検診は、X線撮影法による胃がん検診のような受診者の性年齢区分をした詳細ながん検診成績の回答は求めず、前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に、年間500人以上の内視鏡胃がん検診を施行した機関

のみに限定した。このような条件で集計すると、内視鏡がん検診の受診者総数は541,243人、発見胃癌1,039例（発見率0.19%）、うち早期癌は657例（63.2%）を占めた。胃癌発見率は高率であった（表18）。

II 大腸がん検診全国集計

平成26年度に実施された大腸がん検診の全国集計調査に回答を寄せた機関は297カ所で、検診の統計をよく行っているI群の割合は88.2%であった（表19）。

図10 大腸がん検診の要精検率および精検受診率
(地域, 職域, その他, 男女計, 平成26年度)

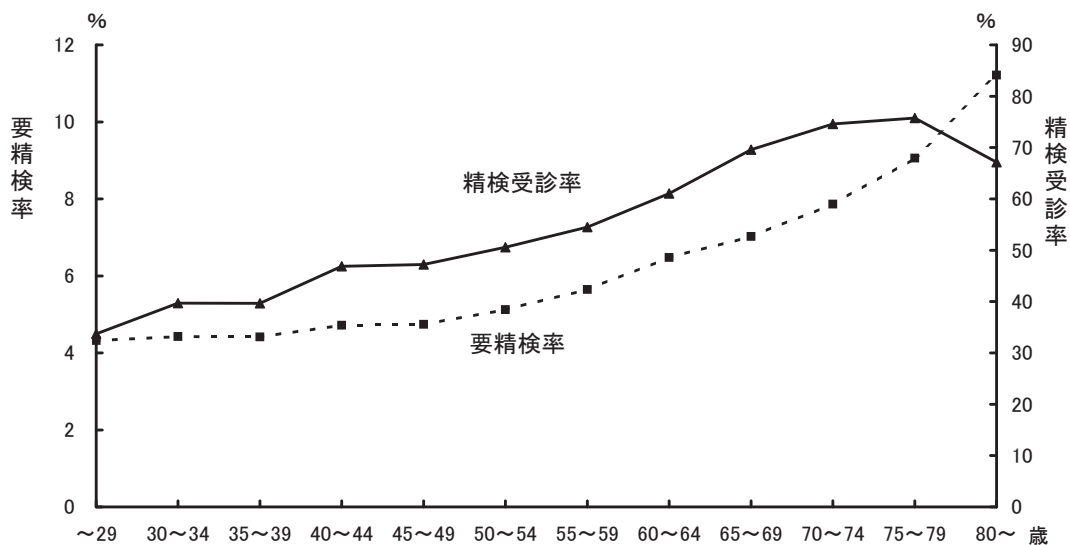
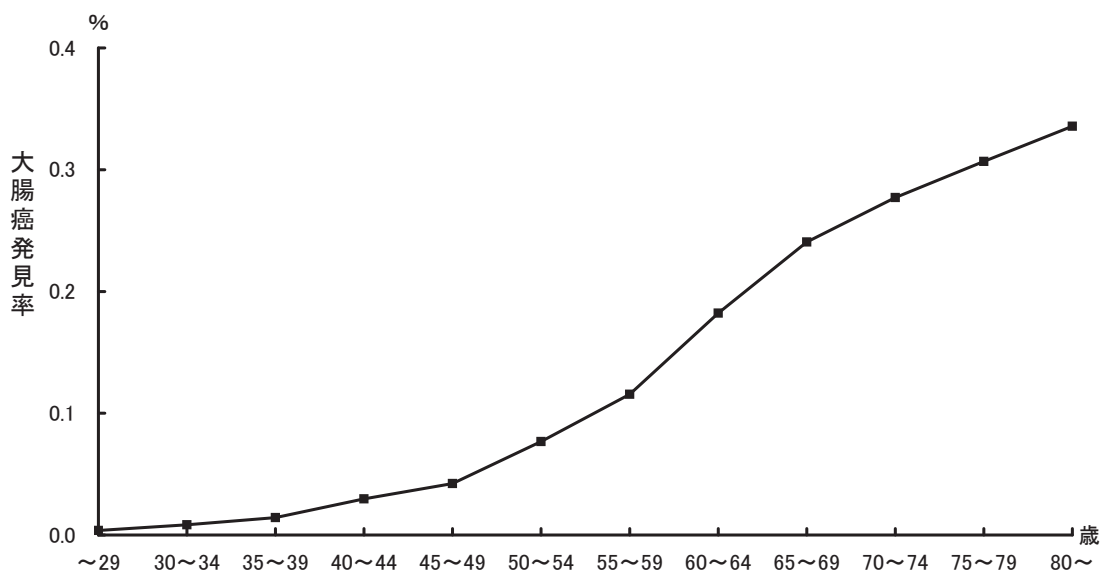


図11 大腸がん検診の大腸癌発見率
(地域, 職域, その他, 男女計, 平成26年度)



1. 大腸検診の受診対象

大腸検診の受診対象は表20に示すように重複回答であるが, 地域検診は76.4%, 職域検診は78.1%,

その他検診は45.5%で行われていた。

2. 大腸検診の実施方法

図12 大腸がん検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率
（地域，職域，その他，男女計，平成26年度）

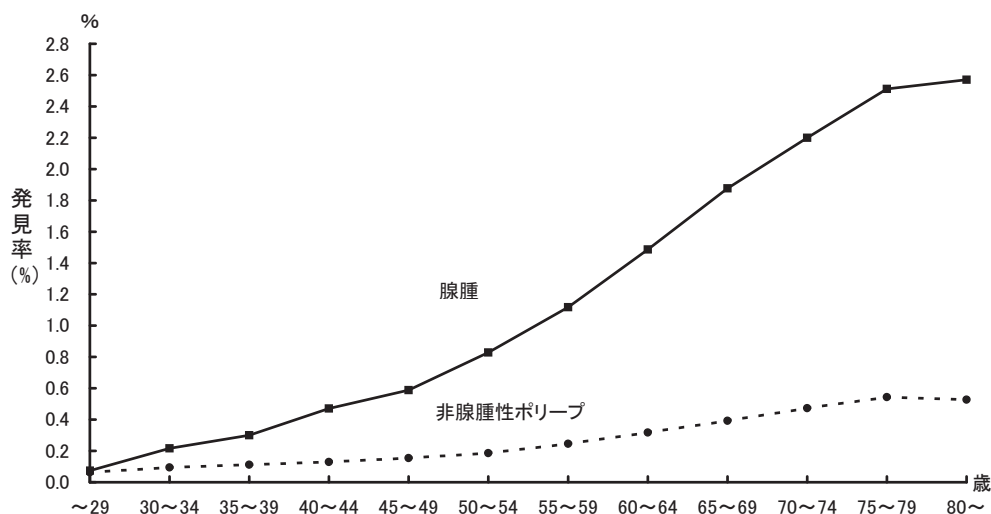


表23 大腸がん検診全国集計成績—男性—地域・職域・その他合計（平成26年度）

	総 数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	3,420,130	31,754	58,474	241,382	438,325	398,621	396,803	396,889	418,137	382,793	301,298	195,643	145,941	14,070
B 要精検者数	234,961	1,066	2,217	9,719	19,307	19,049	22,258	26,140	33,109	32,893	28,674	20,685	18,327	1,517
B/A %	6.87 %	3.36 %	3.79 %	4.03 %	4.40 %	4.78 %	5.61 %	6.59 %	7.92 %	8.59 %	9.52 %	10.57 %	12.56 %	10.78 %
C 精検受診者数	133,499	396	901	3,818	8,585	8,321	10,173	12,535	17,874	21,219	20,508	15,530	12,673	966
C/B %	56.82 %	37.15 %	40.64 %	39.28 %	44.47 %	43.68 %	45.70 %	47.95 %	53.99 %	64.51 %	71.52 %	75.08 %	69.15 %	63.68 %
D 大腸癌	5,848	2	5	34	114	172	328	514	923	1,225	1,127	767	582	55
D/A %	0.171 %	0.006 %	0.009 %	0.014 %	0.026 %	0.043 %	0.083 %	0.130 %	0.221 %	0.320 %	0.374 %	0.392 %	0.399 %	0.391 %
カルチノイド	92	1	0	5	4	9	11	3	7	7	7	36	2	0
腺腫性ポリープ	54,320	27	123	807	2,391	2,852	4,048	5,636	8,132	9,608	8,950	6,489	4,769	488
非腺腫性ポリープ	11,064	22	52	294	623	640	835	1,090	1,579	1,853	1,752	1,312	941	71
潰瘍性大腸炎	1,228	11	38	128	220	148	150	124	122	103	87	52	42	3
クローン氏病	86	1	2	9	18	16	13	9	3	2	4	7	2	0
大腸憩室	9,372	13	31	172	481	555	706	862	1,182	1,443	1,497	1,156	1,160	114
その他良性疾病	13,395	60	130	487	1,118	1,014	1,058	1,109	1,456	1,963	2,019	1,598	1,242	141
異常なし	28,860	219	426	1,578	2,989	2,363	2,370	2,385	3,238	3,675	3,744	3,024	2,774	75

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

大腸検診のスクリーニングの方法は、検便法だけによるものが61.3%，検便法に問診を加えた方法が48.8%であった（表21）。

3. 大腸検診の成績

平成26年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は7,862,837人で前年度に比べ約83万人（11.8%）増加していた。大腸癌発見数は10,286例（0.131%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見率は地域検診0.225%，職域検診0.048%，その他検診0.096%であった（表22）。

地域，職域，その他検診のうち，年齢が5歳階級別に報告された男女合計6,612,057人について年齢別頻度を検討すると，受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代があわせて48.2%と半数を占めた。39歳以下は8.0%，また70歳以上は20.8%を占めた（図9）。要精検率をみると，ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は，胃がん検診に比較して低い傾向がみられた（図10）。

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに，70歳代の発見率は，全年齢層の平均の2.0倍であった（図11）。大腸腺腫の発見率は1.3%で，

表24 大腸がん検診全国集計成績—女性—地域・職域・その他合計（平成26年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	3,223,011	22,159	36,398	137,993	357,152	327,075	344,102	367,027	444,815	438,329	355,884	223,750	151,313	17,014
B 要精検者数	180,943	1,263	1,982	7,028	18,213	15,370	15,711	16,993	22,816	24,801	23,021	17,303	15,010	1,432
B/A %	5.61 %	5.70 %	5.45 %	5.09 %	5.10 %	4.70 %	4.57 %	4.63 %	5.13 %	5.66 %	6.47 %	7.73 %	9.92 %	8.42 %
C 精検受診者数	118,055	389	766	2,823	8,996	7,933	9,027	10,981	16,276	18,926	18,050	13,245	9,711	932
C/B %	65.24 %	30.80 %	38.65 %	40.17 %	49.39 %	51.61 %	57.46 %	64.62 %	71.34 %	76.31 %	78.41 %	76.55 %	64.70 %	65.08 %
D 大腸癌	3,957	0	3	20	122	135	240	369	649	751	694	520	416	38
D/A %	0.123 %	0.000 %	0.008 %	0.014 %	0.034 %	0.041 %	0.070 %	0.101 %	0.146 %	0.171 %	0.195 %	0.232 %	0.275 %	0.223 %
カルチノイド	45	0	0	1	6	3	5	4	8	7	5	6	0	0
腺腫性ポリープ	31,522	13	82	332	1,356	1,421	2,093	2,902	4,696	5,803	5,507	4,045	2,872	400
非腺腫性ポリープ	7,934	12	38	131	408	478	542	789	1,159	1,373	1,356	967	626	55
潰瘍性大腸炎	967	13	15	66	145	125	126	98	117	107	70	41	36	8
クローン氏病	91	1	3	4	6	7	5	3	11	24	12	9	5	1
大腸憩室	8,105	10	17	96	380	375	483	711	1,127	1,371	1,380	1,136	918	101
その他良性疾患	14,187	53	118	418	1,367	1,084	1,137	1,258	1,916	2,191	2,040	1,409	997	199
異常なし	43,102	236	402	1,506	4,506	3,766	3,790	4,181	5,617	6,125	5,827	4,137	2,898	111

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表25 地域大腸がん検診全国集計成績—男性—（平成26年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,284,740	680	2,910	6,932	65,427	57,655	63,875	81,046	174,603	260,863	248,331	175,205	133,879	13,334
B 要精検者数	114,406	35	115	296	3,570	3,220	4,119	5,882	14,051	22,543	23,644	18,613	16,869	1,449
B/A %	8.90 %	5.15 %	3.95 %	4.27 %	5.46 %	5.58 %	6.45 %	7.26 %	8.05 %	8.64 %	9.52 %	10.62 %	12.60 %	10.87 %
C 精検受診者数	81,715	18	69	198	2,149	1,932	2,592	3,823	9,608	16,307	17,803	14,330	11,940	946
C/B %	71.43 %	51.43 %	60.00 %	66.89 %	60.20 %	60.00 %	62.93 %	64.99 %	68.38 %	72.34 %	75.30 %	76.99 %	70.78 %	65.29 %
D 大腸癌	4,248	0	0	3	40	42	104	189	560	989	1,018	702	547	54
D/A %	0.331 %	0.000 %	0.000 %	0.043 %	0.061 %	0.073 %	0.163 %	0.233 %	0.321 %	0.379 %	0.410 %	0.401 %	0.409 %	0.405 %
カルチノイド	58	0	0	1	0	0	4	1	4	5	6	36	1	0
腺腫性ポリープ	33,610	0	5	30	551	606	923	1,562	4,142	7,218	7,682	5,949	4,462	480
非腺腫性ポリープ	7,044	1	3	18	154	151	218	341	890	1,516	1,558	1,231	893	70
潰瘍性大腸炎	392	0	1	5	37	22	19	29	51	62	72	50	41	3
クローン氏病	24	0	0	0	4	6	0	1	0	1	4	6	2	0
大腸憩室	5,742	0	2	4	116	108	161	223	612	1,070	1,218	1,042	1,073	113
その他良性疾患	8,651	2	8	30	325	255	338	455	959	1,633	1,821	1,499	1,189	137
異常なし	16,223	12	44	87	767	604	641	731	1,762	2,777	3,294	2,787	2,646	71

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表26 地域大腸がん検診全国集計成績—女性—（平成26年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,966,044	1,131	4,612	13,131	142,810	121,953	139,882	181,392	315,289	365,654	317,411	206,445	139,767	16,567
B 要精検者数	119,937	84	256	678	7,988	6,266	6,898	8,795	16,352	20,763	20,634	16,035	13,772	1,416
B/A %	6.10 %	7.43 %	5.55 %	5.16 %	5.59 %	5.14 %	4.93 %	4.85 %	5.19 %	5.68 %	6.50 %	7.77 %	9.85 %	8.55 %
C 精検受診者数	89,627	45	145	421	4,991	4,068	4,774	6,671	12,694	16,606	16,599	12,501	9,184	928
C/B %	74.73 %	53.57 %	56.64 %	62.09 %	62.48 %	64.92 %	69.21 %	75.85 %	77.63 %	79.98 %	80.44 %	77.96 %	66.69 %	65.54 %
D 大腸癌	3,286	0	2	7	80	74	131	244	535	646	648	493	388	38
D/A %	0.167 %	0.000 %	0.043 %	0.053 %	0.056 %	0.061 %	0.094 %	0.135 %	0.170 %	0.177 %	0.204 %	0.239 %	0.278 %	0.229 %
カルチノイド	32	0	0	1	4	1	2	1	8	6	4	5	0	0
腺腫性ポリープ	24,655	2	15	57	707	699	1,056	1,704	3,550	4,977	5,017	3,771	2,700	400
非腺腫性ポリープ	6,238	0	9	24	207	256	264	482	916	1,241	1,268	922	594	55
潰瘍性大腸炎	598	4	4	7	72	64	57	55	91	94	66	40	36	8
クローン氏病	75	0	0	0	2	5	4	3	10	24	12	9	5	1
大腸憩室	6,345	0	2	13	201	188	238	409	870	1,177	1,250	1,059	838	100
その他良性疾患	10,889	5	19	66	850	603	651	793	1,546	1,981	1,887	1,333	956	199
異常なし	31,285	31	78	215	2,479	1,913	2,036	2,534	4,404	5,416	5,366	3,942	2,763	108

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

これは大腸癌の8.8倍の頻度であり、発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.29%で、大腸癌の1.9倍の発見率であった（図12）。

性・年齢階級別の大腸がん検診全国集計成績を表23、24に示した。受診者年齢層のピークは男女

とも60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.171%，女0.123%であった。

地域住民を対象とした大腸がん検診の全国集計成績を、表25、26に示した。受診者年齢層のピークは男女とも60歳代後半であった。大腸癌発見率は男0.331%，女0.167%と高率であった。

表27 検診発見大腸癌の受診前歴
(男女計, 平成26年度)

初回受診者	2,418 人	(34.8 %)
1 年前 "	3,264 人	(46.9 %)
2 年前 "	580 人	(8.3 %)
3 年前 "	248 人	(3.6 %)
不 明	445 人	(6.4 %)
計	6,955 人	(100.0 %)

表28 過去3年間の, 検診での便潜血検査
受診回数 (男女計, 平成26年度)

0回	2,618 人	(38.9 %)
1回	865 人	(12.8 %)
2回	766 人	(11.3 %)
3回	1,405 人	(20.8 %)
4回以上	89 人	(1.3 %)
不明	1,006 人	(14.9 %)
計	6,749 人	(100.0 %)

表29 大腸検査受診歴
(男女計, 平成26年度)

なし	2,207 人	(33.4 %)
1 年前受診	185 人	(2.8 %)
2 年前受診	113 人	(1.7 %)
3 年前受診	65 人	(1.0 %)
不明	4,044 人	(61.1 %)
計	6,614 人	(100.0 %)

表30 大腸がんの既往歴
(男女計, 平成26年度)

なし	4,551 人	(68.8 %)
あり	63 人	(1.0 %)
不明	1,999 人	(30.2 %)
計	6,613 人	(100.0 %)

表31 大腸ポリープの既往歴
(男女計, 平成26年度)

なし	3,807 人	(57.5 %)
あり	486 人	(7.4 %)
不明	2,318 人	(35.1 %)
計	6,611 人	(100.0 %)

表32 大腸ポリープ切除の既往歴
(男女計, 平成26年度)

なし	3,892 人	(58.9 %)
あり	320 人	(4.8 %)
不明	2,398 人	(36.3 %)
計	6,610 人	(100.0 %)

診者であった(表27)。

過去3年間に於いて, 検診で便潜血検査を受けた回数は1回が12.8%, 2回以上が33.4%(表28), 大腸検査受診歴のあるものが5.5%(表29)であった。大腸癌の既往は1.0%, 大腸ポリープの既往は7.4%, 大腸ポリープ切除の既往は4.8%に認められた(表30, 31, 32)。

2) 治療の方法

外科手術は1,230例(17.8%), 腹腔鏡下手術は2,170例(31.3%), 内視鏡的ポリペクトミーは1,119例(16.2%), 内視鏡的粘膜切除(含:粘膜下層剝離術)は2,116例(30.6%)に行われた(表33)。

4. 発見大腸癌の追跡調査成績

1) 集計個票の送られてきたがん検診発見大腸癌のうち, 34.8%は初回受診者, 46.9%は1年前受

表33 治療の方法
(男女計, 平成26年度)

外科手術	1,230	(17.8 %)
腹腔鏡下手術	2,170	(31.3 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,119	(16.2 %)
内視鏡的粘膜切除 (含:粘膜下層剥離術)	2,116	(30.6 %)
無治療	35	(0.5 %)
その他	70	(1.0 %)
不 明	177	(2.6 %)
計	6,917	(100.0 %)

表34 手術の種類
(男女計, 平成26年度)

結腸切除	2,003	(65.6 %)
直腸切除	730	(24.0 %)
直腸切断 (人工肛門造設)	87	(2.9 %)
その他	140	(4.6 %)
不 明	87	(2.9 %)
計	3,047	(100.0 %)

表35 癌病巣の数
(男女計, 平成26年度)

単発	6,248	(92.2 %)
2個	294	(4.3 %)
3個	47	(0.7 %)
4個以上	35	(0.5 %)
不明	153	(2.3 %)
計	6,777	(100.0 %)

3) 手術の種類

手術のうち、結腸切除術が2,003例 (65.6%)、直腸切除術が730例 (24.0%)、人工肛門を造設した直腸切断術は87例 (2.9%) であった (表34)。

4) 癌病巣の数

単発は6,248例 (92.2%)、多発は376例 (5.5%)

表36 癌病巣の部位
(男女計, 平成26年度)

部 位	例 数
肛 門 管 (P)	19 (0.3 %)
直 腸 (R)	1,380 (21.1 %)
直腸S状部 (RS)	594 (9.1 %)
S 状 結 腸 (S)	2,057 (31.5 %)
下 行 結 腸 (D)	331 (5.1 %)
横 行 結 腸 (T)	634 (9.7 %)
上 行 結 腸 (A)	1,068 (16.3 %)
盲 腸 (C)	447 (6.8 %)
虫 垂 (V)	4 (0.1 %)
計	6,534 (100.0 %)

表37 肉眼分類
(男女計, 平成26年度)

0型	3,974	(62.3 %)
1型	400	(6.3 %)
2型	1,825	(28.6 %)
3型	146	(2.3 %)
4型	10	(0.2 %)
5型	22	(0.3 %)
計	6,377	(100.0 %)

であった (表35)。

5) 占居部位

発見大腸癌の占居部位は6,534例中、最も多いのがS状結腸で2,057例 (31.5%)、ついで直腸の1,380例 (21.1%) であり (表36)、両者で過半数を占めた。

6) 大腸癌の肉眼分類

0型が3,974例 (62.3%) と最も多くみられた。そのうち I s p 型が1,241例 (31.2%) で、IIc型は82例 (2.1%) のみであった。また2型が1,825例 (28.6%) と多く、4型は10例 (0.2%) のみであった (表37, 38)。

7) 大きさと環周度

表38 0型（表在型）の肉眼分類
（男女計，平成26年度）

I p	807	(20.3 %)
I sp	1,241	(31.2 %)
I s	593	(14.9 %)
II a	651	(16.4 %)
II a+ II c	270	(6.8 %)
II b	6	(0.2 %)
II c	82	(2.1 %)
その他	195	(4.9 %)
不 明	129	(3.2 %)
計	3,974	(100.0 %)

表39 大腸癌の大きさ（長径）
（男女計，平成26年度）

大きさ(cm)	病巣数
～1.0	1,577 (25.8 %)
1.1～2.0	2,089 (34.2 %)
2.1～5.0	2,063 (33.7 %)
5.1～	388 (6.3 %)
計	6,117 (100.0 %)

表40 大腸癌の環周度
（男女計，平成26年度）

1/3 以下	3,508	(70.2 %)
1/2 以下	649	(13.0 %)
3/4 以下	325	(6.5 %)
3/4 以上	205	(4.1 %)
全 周	311	(6.2 %)
計	4,998	(100.0 %)

直径1.0cm以下のもの1,577例（25.8%），1.1～2.0cmが2,089例（34.2%）と2cm以下が過半数を占めた（表39）。環周度は1／3以下が3,508例（70.2

表41 大腸癌の深達度
（男女計，平成26年度）

T i s	2,922	(43.5 %)
T 1	1,330	(19.8 %)
T 2	679	(10.1 %)
T 3	1,192	(17.7 %)
T 4 a	277	(4.1 %)
T 4 b	43	(0.6 %)
不明	284	(4.2 %)
計	6,727	(100.0 %)

表42 リンパ節転移の有無
（男女計，平成26年度）

N0	4,817	(73.3 %)
N1	720	(10.9 %)
N2	232	(3.5 %)
N3	64	(1.0 %)
不明	744	(11.3 %)
計	6,577	(100.0 %)

表43 遠隔転移の有無
（男女計，平成26年度）

なし	5,955	(96.9 %)
あり	191	(3.1 %)
計	6,146	(100.0 %)

表44 大腸癌の組織型分類
（男女計，平成26年度）

乳頭腺癌	(pap)	198	(3.0 %)
高分化管状腺癌	(tub1)	3,918	(58.4 %)
中分化管状腺癌	(tub2)	1,823	(27.2 %)
低分化腺癌	(por)	63	(0.9 %)
粘液癌	(muc)	71	(1.1 %)
印環細胞癌	(sig)	13	(0.2 %)
その他		106	(1.6 %)
不 明		510	(7.6 %)
計		6,702	(100.0 %)

表45 超音波がん検診全国集計対象機関の区分（平成26年度）

	機関数
I 群 性・年齢別にカテゴリー判定が把握されているもの	53 (41.1%)
II 群 性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	76 (58.9%)
計	129 (100.0%)

図13 超音波診断装置

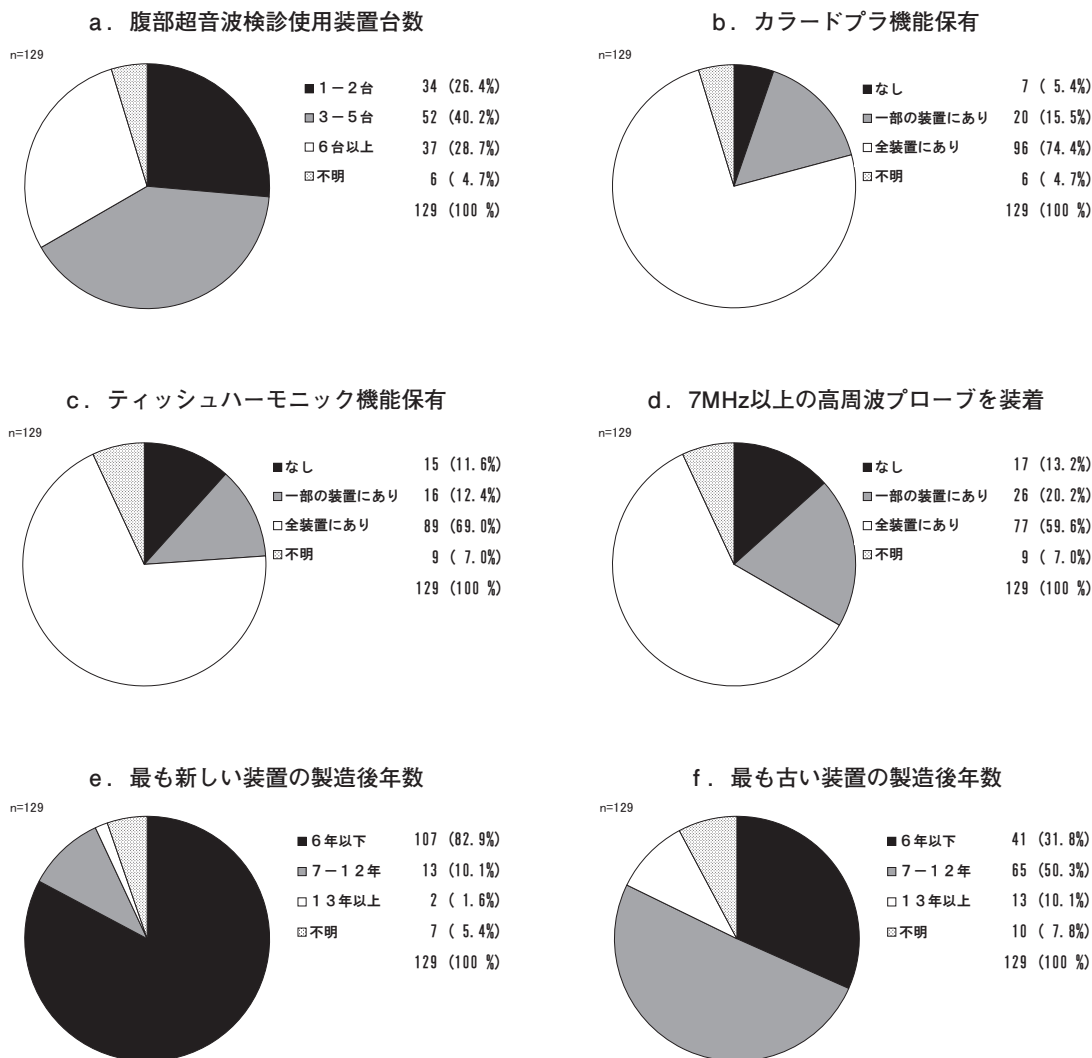
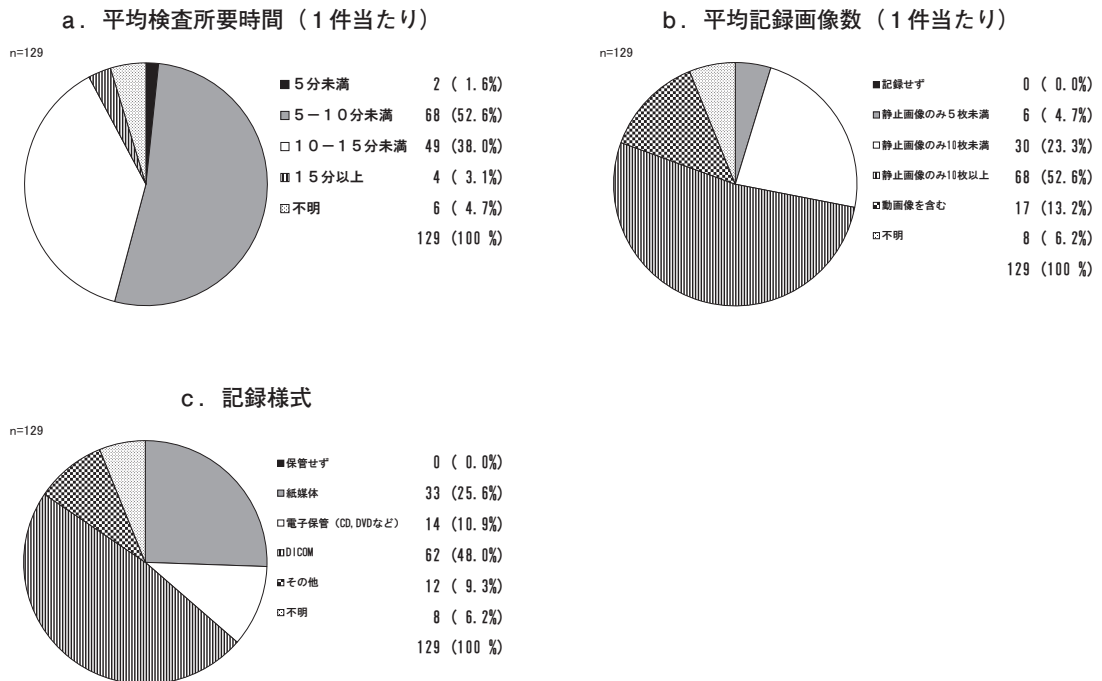


図14 超音波検査



%)で2/3を超えており、全周性が311例(6.2%)に認められた(表40)。

8) 深達度分類

Tisは2,922例(43.5%), T1は1,330例(19.8%)であり、合計で63.3%と早期癌が全体の約2/3を占めた。進行癌を深達度別にみると、T2 679例(10.1%), T3 1,192例(17.7%), T4a 277例(4.1%), T4b 43例(0.6%)であった(表41)。

9) 転移の有無

リンパ節転移ありは6,577例中1,016例(15.4%)であった。遠隔転移ありは6,146例中191例(3.1%)であった(表42, 43)。

10) 組織型分類

病理組織検査を行った6,702例中、高分化管状腺癌が3,918例(58.4%)で最も多く、ついで、中分化管状腺癌が1,823例(27.2%)であった(表44)。

Ⅲ 超音波検診全国集計成績

これまで超音波(肝胆膵)検診の全国集計は、受診者数と発見疾患数(発見率)だけであったが、平成26年4月に腹部超音波検診判定マニュアルが公表されたことを受けて、平成26年度はカテゴリー判定を含めた詳細な集計に変更された。初年度でもあり超音波検診の全国調査に回答を寄せた機関は129カ所で、受診者総数は昨年度より若干減少し、性・年齢別にカテゴリー判定が把握されているI群の割合は、41.1%にとどまった(表45)。

1. 超音波装置

各機関における超音波装置の使用台数は、1-2台が26.4%, 3-5台が40.2%, 6台以上が28.7%(図13a)で、全てまたは一部の装置がカラードプラ機能を持つ機関が89.9%(図13b), ティッシュハーモニク機能を持つ機関が81.4%(図13c), 高周波プローブを装着している機関は79.8%であった(図13d)。また、最も新しい装

図15 超音波検査担当者

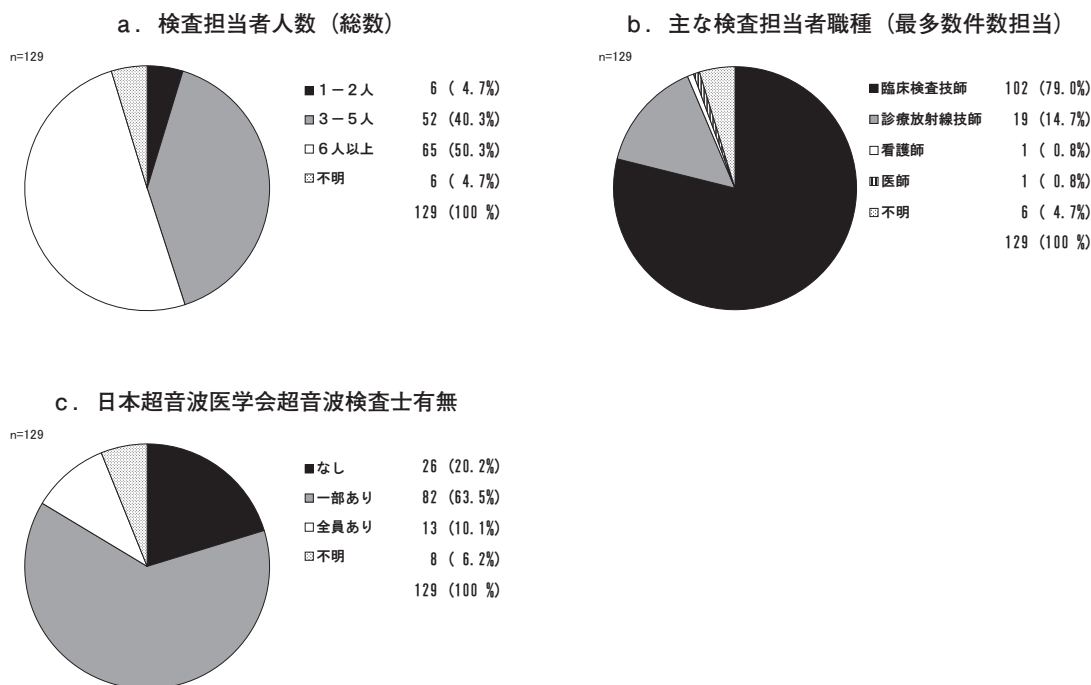
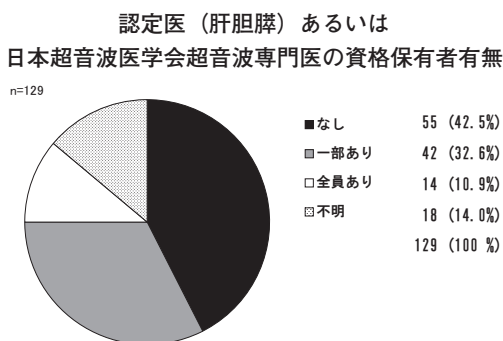


図16 読影診断担当医師



置の製造後年数は6年以下が82.9%と多く（図13 e）、最も古い装置の製造年数は12年以下が82.1%（図13 f）と、多くの機関がマニュアルの実施基準を満たしていた。

2. 超音波検査

1件当たりの平均検査所要時間は、5-10分未

満が52.6%と多く、10-15分未満が38.0%であった（図14 a）。平均記録画像数は静止画像のみ10枚以上が52.6%と最も多く（図14 b）、記録様式はDICOMが48.0%と最も多かった（図14 c）。

3. 超音波検査担当者

検査担当者人数は6人以上が50.3%、3-5人が40.3%（図15 a）で、主な検査担当者の職種は臨床検査技師が79.0%、診療放射線技師14.7%であった（図15 b）。日本超音波医学会超音波検査士の資格の有無については、一部または全ての担当者が持っている機関が73.6%、全員持っていない機関は20.2%であった（図15 c）。

4. 読影診断担当医師

一方で、読影診断担当医師は、全員認定医（肝胆脾）あるいは日本超音波医学会超音波専門医の資格を持っていない機関が42.5%と最も多かった（図16）。

図17 超音波検診後の追跡調査

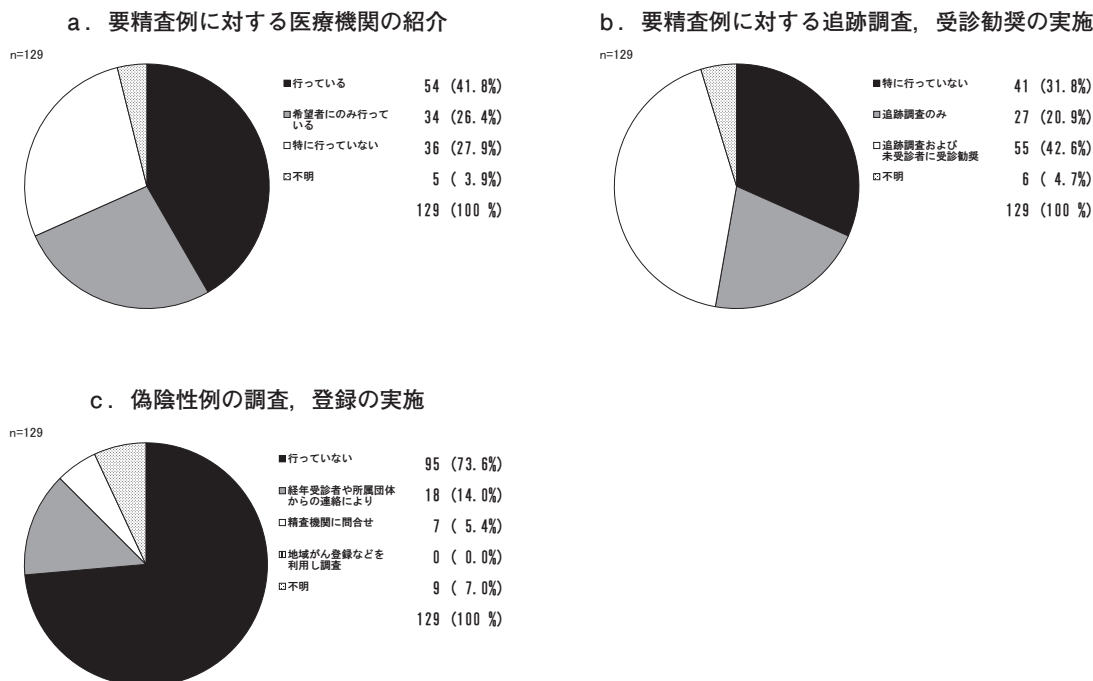


図18 性・年齢階級別受診者数 (平成26年度)

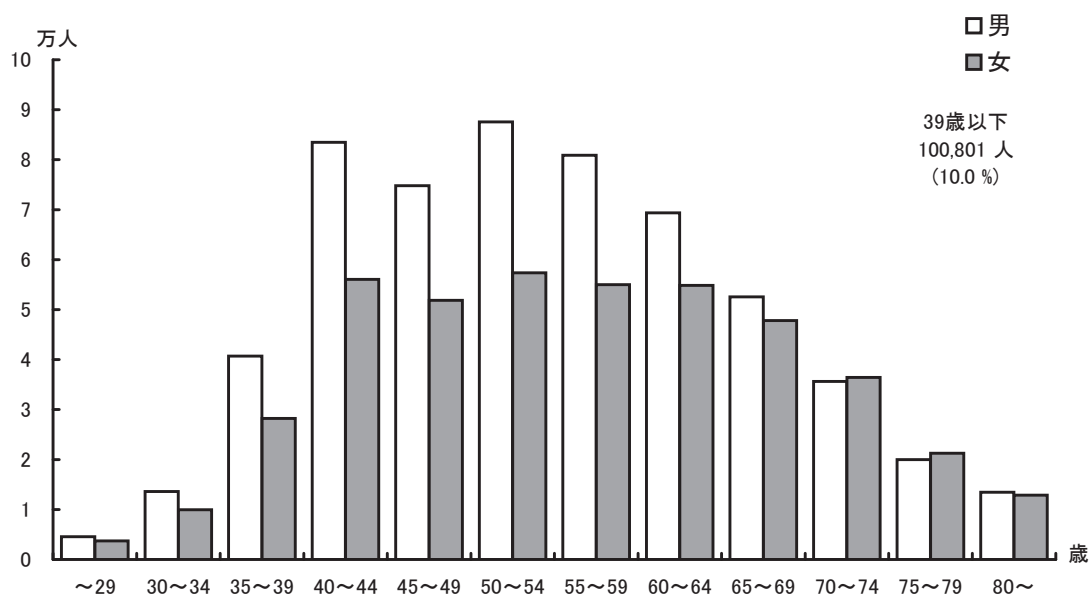


表46 『肝』 カテゴリー判定結果・性・年齢別 超音波検診全国集計成績—男女合計—（平成26年度）

		総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
A 受診者数		1,012,082	8,295	23,562	68,944	139,534	126,649	144,930	135,894	124,240	100,387	72,056	41,272	26,319
カテゴリー判定	0	335	0	0	3	121	96	8	6	5	3	64	19	10
	1	112,940	1,698	4,834	11,943	23,368	16,531	18,516	13,648	11,025	6,023	3,498	1,209	647
	2	106,463	295	1,747	6,121	16,972	15,769	21,271	17,421	13,915	7,277	3,819	1,311	545
	3	4,092	20	70	290	712	639	768	698	462	240	125	40	28
	3'	435	1	8	33	71	70	68	62	62	28	22	7	3
	4	944	2	16	64	171	134	178	160	105	54	43	11	6
	4'	201	0	6	6	31	25	52	30	28	16	3	4	0
	5	25	0	0	2	2	5	6	4	2	2	1	0	1
	5'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明		565,695	4,709	13,719	41,301	79,372	76,616	82,708	79,010	66,855	52,139	36,186	20,095	12,985
B 要精検者数		6,955	28	135	454	958	877	989	917	901	668	504	329	195
B/A%		0.69%	0.34%	0.57%	0.66%	0.69%	0.69%	0.68%	0.67%	0.73%	0.67%	0.70%	0.80%	0.74%
C 精検受診者数		4,272	16	79	236	544	409	552	521	557	527	401	275	155
C/B%		61.42%	57.14%	58.52%	51.98%	56.78%	46.64%	55.81%	56.82%	61.82%	78.89%	79.56%	83.59%	79.49%
D 悪性症例数		88	0	0	4	0	2	12	5	9	23	11	14	8
D/A%		0.01%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.01%	0.02%	0.02%	0.03%	0.03%
D/B%		1.27%	0.00%	0.00%	0.88%	0.00%	0.23%	1.21%	0.55%	1.00%	3.44%	2.18%	4.26%	4.10%
D票回収数/D%		100.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	100.00%	58.33%	100.00%	100.00%	100.00%	90.91%	100.00%	100.00%

表47 『胆嚢』 カテゴリー判定結果・性・年齢別 超音波検診全国集計成績—男女合計—（平成26年度）

		総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
A 受診者数		1,012,082	8,295	23,562	68,944	139,534	126,649	144,930	135,894	124,240	100,387	72,056	41,272	26,319
カテゴリー判定	0	4,543	4	25	68	310	405	804	809	859	553	408	190	108
	1	151,952	1,714	5,336	13,900	29,580	22,358	26,440	20,319	16,149	8,644	5,017	1,691	804
	2	49,964	183	966	3,183	8,554	7,213	10,114	7,880	6,395	3,179	1,568	489	240
	3	4,750	14	61	327	757	750	949	765	539	324	172	66	26
	3'	342	2	10	18	45	34	62	38	53	45	20	9	6
	4	512	0	12	32	72	89	96	88	80	26	12	4	1
	4'	54	0	0	0	6	6	14	10	7	6	4	0	1
	5	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
	5'	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	不明	577,043	4,807	13,863	42,206	81,396	78,915	84,904	80,877	68,135	52,821	36,479	19,614	13,026
B 要精検者数		4,730	14	67	199	484	492	630	690	667	565	419	297	206
B/A%		0.47%	0.17%	0.28%	0.29%	0.35%	0.39%	0.43%	0.51%	0.54%	0.56%	0.58%	0.72%	0.78%
C 精検受診者数		2,899	5	41	113	240	237	340	377	415	392	335	245	159
C/B%		61.29%	35.71%	61.19%	56.78%	49.59%	48.17%	53.97%	54.64%	62.22%	69.38%	79.95%	82.49%	77.18%
D 悪性症例数		22	0	0	0	1	2	3	0	3	6	3	1	3
D/A%		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.00%	0.01%
D/B%		0.47%	0.00%	0.00%	0.00%	0.21%	0.41%	0.48%	0.00%	0.45%	1.06%	0.72%	0.34%	1.46%
D票回収数/D%		100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

5. 検診後の追跡調査

要精査例に対する医療機関の紹介を行っていない機関は27.9%（図17 a）、要精査例の追跡調査や受診勧奨を行っていない機関は31.8%と少なかった（図17 b）が、何らかの偽陰性例の調査を実

施している機関は19.4%とわずかであった（図17 c）。

6. 性・年齢別超音波検診全国集計成績（図18, 表46～53）

表48 『胆道』 カテゴリー判定結果・性・年齢別 超音波検診全国集計成績—男女合計—（平成26年度）

		総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
A 受診者数		1,012,082	8,295	23,562	68,944	139,534	126,649	144,930	135,894	124,240	100,387	72,056	41,272	26,319
カテゴリー判定	0	6,935	71	298	640	1,088	1,078	1,374	1,378	606	235	90	47	30
	1	170,310	1,752	5,633	13,758	32,668	24,147	30,823	22,741	19,598	10,194	5,879	2,109	1,008
	2	3,425	22	54	163	457	509	580	535	541	282	167	66	49
	3	835	1	3	17	53	61	142	124	175	113	76	31	39
	3'	79	0	0	0	0	3	11	6	19	13	14	8	5
	4	15	0	0	1	3	4	2	1	0	1	3	0	0
	4'	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	538,624	4,575	13,463	39,539	76,423	73,655	78,806	73,916	61,913	49,246	34,640	19,628	12,820
B 要精検者数		1,227	3	6	16	44	61	105	130	191	192	190	149	140
B/A%		0.12%	0.04%	0.03%	0.02%	0.03%	0.05%	0.07%	0.10%	0.15%	0.19%	0.26%	0.36%	0.53%
C 精検受診者数		858	2	3	6	19	17	54	67	120	152	165	129	124
C/B%		69.93%	66.67%	50.00%	37.50%	43.18%	27.87%	51.43%	51.54%	62.83%	79.17%	86.84%	86.58%	88.57%
D 悪性症例数		19	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	6	5
D/A%		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.02%
D/B%		1.55%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.52%	1.04%	2.63%	4.03%	3.57%
D票回収数/D%		89.47%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	80.00%	100.00%	100.00%

表49 『膵』 カテゴリー判定結果・性・年齢別 超音波検診全国集計成績—男女合計—（平成26年度）

		総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
A 受診者数		1,012,082	8,295	23,562	68,944	139,534	126,649	144,930	135,894	124,240	100,387	72,056	41,272	26,319
カテゴリー判定	0	5,390	22	74	259	875	946	915	897	594	394	230	127	57
	1	204,256	1,953	6,416	17,333	38,416	30,035	37,084	28,322	22,927	11,978	6,585	2,178	1,029
	2	1,654	2	26	75	216	231	329	237	235	169	75	46	13
	3	1,678	3	13	33	118	111	288	293	348	200	145	74	52
	3'	507	0	0	7	35	56	46	71	100	80	63	29	20
	4	176	0	3	6	20	9	25	32	31	17	19	8	6
	4'	49	0	0	1	5	4	7	4	20	6	2	0	0
	5	4	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0
	5'	6,762	41	177	764	1,530	1,232	1,248	897	498	256	90	23	6
	不明	568,424	4,696	13,673	41,052	79,210	76,940	83,253	80,089	67,582	52,297	36,437	20,180	13,015
B 要精検者数		5,582	6	32	104	242	248	550	622	905	910	811	678	474
B／A%		0.55%	0.07%	0.14%	0.15%	0.17%	0.20%	0.38%	0.46%	0.73%	0.91%	1.13%	1.64%	1.80%
C 精検受診者数		4,357	4	17	71	160	152	385	431	680	756	685	604	412
C／B%		78.05%	66.67%	53.13%	68.27%	66.12%	61.29%	70.00%	69.29%	75.14%	83.08%	84.46%	89.09%	86.92%
D 悪性症例数		65	0	0	0	0	0	6	4	11	9	13	12	10
D／A%		0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.02%	0.03%	0.04%
D／B%		1.16%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.09%	0.64%	1.22%	0.99%	1.60%	1.77%	2.11%
D票回収数／D%		100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

平成26年度の受診者総数は1,012,082人、40～59歳の受診者が多く男性が女性の約1.5倍を占めていたが、70～79歳の受診者は女性が男性をわずかに上回った（図18）。

延べ発見癌数は588例（0.058%）（表53）で、肝・

胆嚢・胆道・膵では50歳代以降で癌発見率が高い傾向を認めたが、腎は35歳以降から比較的高い癌発見率を認めた（表46～52）。

各臓器の要精検率は0.03～0.69%で、全てを合計しても2.47%、精検受診率は55.22～78.05%で

表50 『腎』 カテゴリー判定結果・性・年齢別 超音波検診全国集計成績—男女合計—（平成26年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
A 受診者数	1,012,082	8,295	23,562	68,944	139,534	126,649	144,930	135,894	124,240	100,387	72,056	41,272	26,319
カテゴリー判定	0	115	0	2	2	8	14	20	23	23	9	10	3
	1	158,415	1,862	5,908	15,333	32,752	24,370	28,153	20,806	15,674	7,790	3,930	587
	2	58,406	130	650	2,552	7,281	7,519	11,034	9,770	8,939	5,339	3,330	608
	3	2,296	7	26	97	303	279	465	378	380	173	120	34
	3'	300	0	3	14	24	44	45	38	57	32	28	2
	4	261	0	3	16	31	30	61	48	35	13	14	3
	4'	32	0	0	1	5	4	4	0	9	8	1	0
	5	16	0	0	0	0	3	3	3	3	0	0	1
	5'	3,081	31	143	286	681	588	557	453	220	79	31	6
	不明	567,646	4,690	13,654	41,426	79,637	76,963	83,122	79,422	67,079	52,293	36,276	20,129
B 要精検者数	3,696	12	58	175	385	421	535	513	558	416	330	187	106
B/A%	0.37%	0.14%	0.25%	0.25%	0.28%	0.33%	0.37%	0.38%	0.45%	0.41%	0.46%	0.45%	0.40%
C 精検受診者数	1,988	3	26	72	177	171	240	244	311	276	244	142	82
C/B%	53.79%	25.00%	44.83%	41.14%	45.97%	40.62%	44.86%	47.56%	55.73%	66.35%	73.94%	75.94%	77.36%
D 悪性症例数	121	0	0	4	9	11	15	17	21	22	10	11	1
D/A%	0.01%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%	0.02%	0.02%	0.01%	0.03%	0.00%
D/B%	3.27%	0.00%	0.00%	2.29%	2.34%	2.61%	2.80%	3.31%	3.76%	5.29%	3.03%	5.88%	0.94%
D票回収数/D%	100.00%	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	93.33%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

表51 『脾』 カテゴリー判定結果・性・年齢別 超音波検診全国集計成績—男女合計—（平成26年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
A 受診者数	1,012,082	8,295	23,562	68,944	139,534	126,649	144,930	135,894	124,240	100,387	72,056	41,272	26,319
カテゴリー判定	0	575	3	6	20	42	66	74	87	90	83	58	32
	1	204,861	1,857	6,142	16,892	37,919	30,078	37,201	28,792	23,318	12,289	6,885	2,357
	2	5,715	96	311	581	1,345	854	974	581	520	229	126	61
	3	177	2	2	10	37	26	31	28	16	14	6	2
	3'	49	0	2	2	10	4	8	7	8	5	2	1
	4	49	0	3	3	7	10	8	8	2	5	2	0
	4'	10	0	0	0	1	3	2	2	0	0	2	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	577,831	4,761	13,913	42,021	81,059	78,512	84,893	81,331	68,376	53,064	36,640	20,229
B 要精検者数	335	3	8	18	52	50	46	52	36	24	28	9	9
B/A%	0.03%	0.04%	0.03%	0.03%	0.04%	0.04%	0.03%	0.04%	0.03%	0.02%	0.04%	0.02%	0.03%
C 精検受診者数	185	0	5	10	29	22	17	27	22	15	23	9	6
C/B%	55.22%	0.00%	62.50%	55.56%	55.77%	44.00%	36.96%	51.92%	61.11%	62.50%	82.14%	100.00%	66.67%
D 悪性症例数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
D/A%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
D/B%	0.30%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.92%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
D票回収数/D%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

脾の精検受診率が最も高かった。

たD票が回収された。

7. D票による全国集計成績（表54～64）

発見癌588例のうち533人について、検診受診歴やカテゴリー判定、治療法を含めた詳細を記載し

7-1. 検診受診歴（表54）

癌発見は、1年前受診が59.9%と最も多く、次いで初回受診25.5%であった。

表52 『その他の悪性疾患』 カテゴリー判定結果・性・年齢別 超音波検診全国集計成績—男女合計—
(平成26年度)

		総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上
A 受診者数		1,012,082	8,295	23,562	68,944	139,534	126,649	144,930	135,894	124,240	100,387	72,056	41,272	26,319
カテゴリー判定	0	13	0	0	0	2	1	0	1	0	4	2	2	1
	1	149,313	1,286	5,054	11,840	28,656	21,065	28,194	20,860	17,161	8,449	4,625	1,407	716
	2	2,473	8	11	93	104	122	200	293	397	449	384	247	165
	3	186	1	3	6	28	29	28	46	20	11	12	2	0
	3'	44	0	1	0	5	2	5	4	11	8	6	2	0
	4	844	0	12	51	159	185	178	107	85	37	16	6	8
	4'	392	2	6	30	42	89	91	83	35	9	3	2	0
	5	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
	5'	25,747	256	782	2,454	3,966	4,070	5,917	4,814	2,270	848	274	72	24
	不明	565,412	4,749	13,375	40,633	79,389	76,424	80,927	78,102	67,751	53,552	37,015	20,388	13,107
B 要精検者数		2,423	14	52	133	345	293	289	255	234	279	217	163	149
B/A%		0.24%	0.17%	0.22%	0.19%	0.25%	0.23%	0.20%	0.19%	0.19%	0.28%	0.30%	0.39%	0.57%
C 精検受診者数		1,735	13	46	99	223	187	187	166	152	215	171	137	139
C/B%		71.61%	92.86%	88.46%	74.44%	64.64%	63.82%	64.71%	65.10%	64.96%	77.06%	78.80%	84.05%	93.29%
D 悪性症例数		86	0	0	2	4	1	7	10	8	17	14	14	9
D/A%		0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.02%	0.02%	0.03%	0.03%
D/B%		3.55%	0.00%	0.00%	1.50%	1.16%	0.34%	2.42%	3.92%	3.42%	6.09%	6.45%	8.59%	6.04%
D票回収数/D%		100.00%	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	70.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

表53 悪性症例疾患リスト 超音波検診全国集計成績—合計— (平成26年度, 年齢不明含む)

『肝』																
臓器・腫瘍	把握できた 症例数	検診時カテゴリー										切除 症例数	非切除 治癒数	その他	不明	
		0	1	2	3	3'	4	4'	5	5'	不明					
肝細胞がん	67	0	0	0	0	3	0	15	0	5	0	34	35	18	5	8
胆管細胞がん	13	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0	5	7	5	1	0
他がんの肝転移	34	0	0	0	0	0	0	7	0	6	0	17	7	18	3	5
その他	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2
合計(悪性症例)	117	0	0	0	0	7	0	24	0	12	0	58	49	42	9	15
『胆嚢』																
臓器・腫瘍	把握できた 症例数	検診時カテゴリー										切除 症例数	非切除 治癒数	その他	不明	
		0	1	2	3	3'	4	4'	5	5'	不明					
胆嚢がん	30	0	0	1	6	0	4	4'	0	3	0	11	24	4	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(悪性症例)	30	0	0	1	6	0	4	0	3	0	11	24	4	0	2	2
『胆道』																
臓器・腫瘍	把握できた 症例数	検診時カテゴリー										切除 症例数	非切除 治癒数	その他	不明	
		0	1	2	3	3'	4	4'	5	5'	不明					
肝外胆管がん	18	0	0	0	3	0	0	4'	0	0	0	9	12	2	0	3
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計(悪性症例)	19	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	9	13	2	0	3
『膵』																
臓器・腫瘍	把握できた 症例数	検診時カテゴリー										切除 症例数	非切除 治癒数	その他	不明	
		0	1	2	3	3'	4	4'	5	5'	不明					
膵がん	76	0	0	0	7	0	14	0	6	0	40	35	30	6	3	
膵神経内分泌腫瘍	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	8	1	0	1	
粘液産生性悪性腫瘍 (IPMCMCなど)	57	0	2	0	1	0	1	0	0	0	53	2	0	2	53	
他がんの膵転移	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計(悪性症例)	144	0	2	0	10	0	15	0	6	0	99	45	32	8	57	
『腎』																
臓器・腫瘍	把握できた 症例数	検診時カテゴリー										切除 症例数	非切除 治癒数	その他	不明	
		0	1	2	3	3'	4	4'	5	5'	不明					
腎細胞がん	154	0	0	2	7	0	49	1	25	0	45	147	1	0	3	
腎盂がん	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	
尿管がん	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	
他がんの腎転移	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	
合計(悪性症例)	165	0	0	3	13	0	51	1	25	0	47	154	3	1	4	
『脾』																
臓器・腫瘍	把握できた 症例数	検診時カテゴリー										切除 症例数	非切除 治癒数	その他	不明	
		0	1	2	3	3'	4	4'	5	5'	不明					
悪性リンパ腫	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(悪性症例)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
『その他』																
臓器・腫瘍	把握できた 症例数	検診時カテゴリー										切除 症例数	非切除 治癒数	その他	不明	
		0	1	2	3	3'	4	4'	5	5'	不明					
悪性リンパ腫	16	0	0	0	4	0	6	0	0	0	4	2	10	3	1	
消化管のがん	23	0	0	0	0	0	3	0	0	0	16	19	2	1	1	
その他	73	0	0	0	3	0	17	0	2	0	43	53	10	2	4	
合計(悪性症例)	112	0	0	0	7	0	26	0	2	0	63	74	22	6	6	

表54 検診受診歴（D票）
（男女計，平成26年度）

初回受診	136 人	25.5 %
1年前受診	319 人	59.9 %
2年前受診	45 人	8.4 %
3年前受診	21 人	3.9 %
不明	12 人	2.3 %
計	533 人	100.0 %

表55 悪性疾患の認められた臓器（D票）
（男576,629人，平成26年度）

肝	90 人 (0.0156%)	24.0 %
胆嚢	18 人 (0.0031%)	4.8 %
胆道	13 人 (0.0023%)	3.5 %
膵	51 人 (0.0088%)	13.6 %
腎	126 人 (0.0219%)	33.6 %
脾	2 人 (0.0003%)	0.5 %
その他	75 人 (0.0130%)	20.0 %
計	375 人 (0.0650%)	100.0 %

表56 悪性疾患の認められた臓器（D票）
（女435,453人，平成26年度）

肝	19 人 (0.0044%)	12.0 %
胆嚢	12 人 (0.0028%)	7.6 %
胆道	4 人 (0.0009%)	2.5 %
膵	46 人 (0.0106%)	29.2 %
腎	43 人 (0.0099%)	27.2 %
脾	0 人 (0.0000%)	0.0 %
その他	34 人 (0.0078%)	21.5 %
計	158 人 (0.0363%)	100.0 %

7-2. 悪性疾患の認められた臓器（表55, 56）

男性は受診者576,629人に対して375人（癌発見率0.0650％）の悪性疾患が発見され，悪性疾患を認めた臓器は，腎33.6％，肝24.0％，膵13.6％であった。女性は435,453人に対して158人（癌発見率0.0363％）の悪性疾患が発見され，膵29.2％，腎27.2％，肝12.0％であった。男性の癌発見率は女性の約1.8倍であるが，膵癌発見率は女性の方がやや高かった。

表57 超音波検診カテゴリー（D票）
（男女計，平成26年度）

0	0 人	0.0 %
1	1 人	0.2 %
2	6 人	1.1 %
3	52 人	9.8 %
3'	1 人	0.2 %
4	141 人	26.5 %
4'	0 人	0.0 %
5	71 人	13.3 %
5'	0 人	0.0 %
不明	192 人	36.0 %
無回答	69 人	12.9 %
計	533 人	100.0 %

表58 最終診断根拠（D票）
（男女計，平成26年度）

剖検	4 人	0.8 %
切除	274 人	51.4 %
生検(病理、細胞診)	86 人	16.1 %
画像診断(造影CT、MRI、その他)	168 人	31.5 %
無回答	1 人	0.2 %
計	533 人	100.0 %

表59 主な治療法（D票）
（男女計，平成26年度）

切除手術	374 人	70.1 %
局所療法	7 人	1.3 %
経カテーテル治療	10 人	1.9 %
化学療法	77 人	14.4 %
放射線療法	3 人	0.6 %
その他の治療	19 人	3.6 %
未治療	15 人	2.8 %
無回答	28 人	5.3 %
計	533 人	100.0 %

7-3. 検診時カテゴリー（表57）

今回の集計ではカテゴリー不明と無回答が約半数を占めたが，カテゴリー4が26.5％と最も多く，次いでカテゴリー5 13.3％，カテゴリー3 9.8％，異常なしまたは良性病変とするカテゴリー1, 2が1.3％含まれていた。

表60 ステージ分類（D票）
（男女計，平成26年度）

O	21 人	3.9 %
I	159 人	29.7 %
I a	24 人	4.5 %
I b	9 人	1.7 %
II	44 人	8.3 %
II a	9 人	1.7 %
II b	4 人	0.8 %
III	48 人	9.0 %
III a	4 人	0.8 %
III b	6 人	1.1 %
III c	1 人	0.2 %
IV	28 人	5.3 %
IV a	16 人	3.0 %
IV b	33 人	6.2 %
不明	111 人	20.8 %
その他	1 人	0.2 %
無回答	15 人	2.8 %
計	533 人	100.0 %

表61 重複癌（D票）
（男女計，平成26年度）

無	423 人	79.4 %
有	25 人	4.7 %
不明	71 人	13.3 %
無回答	14 人	2.6 %
計	533 人	100.0 %

7-4. 診断，治療法など

最終診断は，病理診断が68.3%，画像診断によるのは31.5%であった（表58）。70.1%は切除手術が実施され（表59），ステージ0またはIが4割を占めていた（表60）。重複癌が約5%に見られた（表61）。

Ⅳ 食道がん検診全国集計成績

食道がん検診の受診者総数は1,076,684人であった。また，発見食道癌は156例（0.01%），食道ポリープ2,145例（0.20%），食道炎43,618例（4.05%）であった（表65）。

Ⅴ まとめ

平成26年度の消化器がん検診全国集計について

表62 ICD-Oコード別発見癌一覧
（男女計，平成26年度）

最終診断名(局在コード)	
C22.0 (肝実質 肝細胞癌，肝芽腫，肝肉腫など)	72 人
C22.1 肝内胆管	15 人
C23 胆のう	26 人
C24.0 肝外胆管	13 人
C24.1 乳頭部	3 人
C24.9 部位不明（部位を特定できない場合）	1 人
C25.0 膵頭部（鉤部，頸部を含む）	35 人
C25.1 膵体部	34 人
C25.2 膵尾部	13 人
C25.3 膵管	1 人
C25.9 部位不明（部位を特定できない場合）	12 人
C64.9 腎（腎細胞がんなど）	159 人
C65.9 腎盂	2 人
C66.9 尿管	3 人
C42.2 脾	2 人
C74.0 副腎皮質	1 人
C74.9 副腎 部位不明（部位を特定できない場合）	1 人
C48.0 後腹膜	2 人
C48.1 腹膜	1 人
C54.9 子宮体部	5 人
C56.9 卵巢	9 人
C67.9 膀胱	41 人
C61 前立腺	4 人
C15.2 腹部食道	2 人
C16.0 胃噴門	3 人
C16.2 胃体部	2 人
C16.4 胃幽門	1 人
C16.9 胃部位不明（部位を特定できない場合）	4 人
C18.6 下行結腸	1 人
C18.7 S状結腸	1 人
C18.9 結腸 部位不明（部位を特定できない場合）	1 人
その他	53 人
無回答	10 人

表63 ICD-Oコード別発見癌一覧
（男女計，平成26年度）

重複癌有の場合の診断名①(局在コード)	
8170/3 肝細胞癌（画像所見のみで付してよい）	55 人
8160/3 胆管細胞癌（画像所見のみで付してよい）	16 人
8140/3 腺癌	44 人
8500/3 浸潤性膵管癌	46 人
8453/2 膵管内乳頭粘液性腺癌（IPMC）	1 人
8470/3 粘液性囊胞腺癌（MCC）	1 人
8500/2 膵管内管状腺癌（ITC）	7 人
8310/3 腎細胞癌	142 人
8260/3 乳頭状腎細胞癌	5 人
8120/3 浸潤性尿路上皮癌	13 人
8130/2 非浸潤性乳頭状尿路上皮癌	21 人
9590/3 悪性リンパ腫	2 人
8070/3 扁平上皮癌	3 人
8380/3 類内臓癌，類内臓腺癌	5 人
8441/3 漿液性腺癌，漿液性囊胞腺癌	3 人
8480/3 粘液性腺癌	1 人
8700/3 悪性褐色細胞腫	1 人
8936/3 胃腸管間質腫瘍，悪性（GIST）	9 人
9680/36 びまん性大細胞型リンパ腫	2 人
その他	102 人
無回答	54 人

要約すると以下ようになる。

（1）胃がん検診については，受診者総数が6,682,592人で，前年度比-1.4%，約9.4万人の減少，発見癌数は5,041例（発見率0.075%）であった。

表64 ICD-Oコード別発見癌一覧
(男女計, 平成26年度)

重複癌有の場合の診断名①(局在コード)	
C22.0 (肝実質 肝細胞癌, 肝芽腫, 肝肉腫など)	6人
C25.1 膵体部	1人
C25.2 膵尾部	1人
C64.9 腎 (腎細胞がんなど)	1人
C56.9 卵巣	1人
C16.2 胃体部	2人
C16.9 胃部位不明 (部位を特定できない場合)	3人
C18.2 上行結腸	2人
C18.6 下行結腸	1人
C18.7 S状結腸	1人
その他	4人
無回答	2人

重複癌有の場合の診断名①(形態コード)	
8170/3 肝細胞癌 (画像所見のみで付してよい)	5人
8140/3 腺癌	5人
8310/3 腎細胞癌	1人
8380/3 類内膜癌, 類内膜腺癌	1人
その他	4人
無回答	9人

重複癌有の場合の診断名②(局在コード)	
C42.2 脾	1人
C48.1 腹膜	1人
その他	1人

重複癌有の場合の診断名②(形態コード)	
無回答	3人

表65 食道がん検診の全国集計成績
(平成26年度)

受診者総数	1,076,684人	
男	666,821人	(61.9%)
女	409,863人	(38.1%)
発見疾患と発見率		
食道癌	156人	(0.01%)
食道ポリープ	2,145人	(0.20%)
食道炎	43,618人	(4.05%)
バレット潰瘍	1,355人	(0.13%)
静脈瘤	653人	(0.06%)
その他の疾患	84,117人	(7.81%)

地域検診は、全体の37.4%の約250万人であった。

(2) 大腸がん検診は全国で7,862,837人, 前年度比+11.8%, 約83万人の増加, 発見大腸癌10,286例(発見率0.131%)であった。

(3) 超音波検診については, 受診者総数が1,012,082人であった。前年度比-19.9%, 約25万人の減少, 発見肝癌117例, 発見胆嚢癌30例, 発見胆道癌19例, 発見膵癌144例, 発見腎癌165例, 発見脾癌1例, その他の悪性疾患112例であった。

なお, アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関, および学会の役職員や事務局の方々, 各県の全国集計協力委員, 超音波検診委員会委員, 認定医の先生方の多大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

平成26年度 消化器がん検診全国集計

表66

胃がん検診

		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 胃癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率
		C I 票 胃X線対象区分				X線造影					
全 国		6,682,592	428,083	269,622	5,041	3,868	6.41	63.0	0.075	1.18	76.7
支 部 別	北海道	378,862	23,158	16,842	383	325	6.11	72.7	0.101	1.65	84.9
	東 北	1,036,370	77,208	56,544	1,108	1,016	7.45	73.2	0.107	1.44	91.7
	関東甲信越	1,740,519	118,702	71,900	1,430	1,018	6.82	60.6	0.082	1.20	71.2
	東海北陸	1,016,641	63,920	34,774	567	380	6.29	54.4	0.056	0.89	67.0
	近 畿	948,453	51,000	26,593	518	343	5.38	52.1	0.055	1.02	66.2
	中国四国	540,073	31,293	21,202	489	342	5.79	67.8	0.091	1.56	69.9
	九 州	1,021,674	62,802	41,767	546	444	6.15	66.5	0.053	0.87	81.3
北海道	北海道	378,862	23,158	16,842	383	325	6.11	72.7	0.101	1.65	84.9
東 北	青 森	168,509	12,345	8,923	136	106	7.33	72.3	0.081	1.10	77.9
	岩 手	195,265	12,265	9,719	214	196	6.28	79.2	0.110	1.74	91.6
	秋 田	89,283	9,261	6,613	120	110	10.37	71.4	0.134	1.30	91.7
	宮 城	244,874	16,726	11,021	339	332	6.83	65.9	0.138	2.03	97.9
	山 形	229,613	19,403	14,605	203	195	8.45	75.3	0.088	1.05	96.1
	福 島	108,826	7,208	5,663	96	77	6.62	78.6	0.088	1.33	80.2
関 東 甲 信 越	茨 城	167,011	13,544	9,802	170	156	8.11	72.4	0.102	1.26	91.8
	群 馬	93,277	8,085	4,466	97	86	8.67	55.2	0.104	1.20	88.7
	栃 木	79,853	6,321	4,886	96	95	7.92	77.3	0.120	1.52	99.0
	埼 玉	95,191	3,962	2,544	93	77	4.16	64.2	0.098	2.35	82.8
	千 葉	208,421	18,290	13,218	254	103	8.78	72.3	0.122	1.39	40.6
	東 京	299,012	18,729	9,096	119	89	6.26	48.6	0.040	0.64	74.8
	神奈川	350,964	23,427	7,738	155	22	6.68	33.0	0.044	0.66	14.2
	山 梨	60,447	4,162	3,148	47	42	6.89	75.6	0.078	1.13	89.4
	長 野	85,908	7,486	5,499	51	4	8.71	73.5	0.059	0.68	7.8
東 海 北 陸	新 潟	300,435	14,696	11,503	348	344	4.89	78.3	0.116	2.37	98.9
	富 山	112,288	5,750	3,866	75	55	5.12	67.2	0.067	1.30	73.3
	石 川	64,823	5,960	4,741	91	88	9.19	79.5	0.140	1.53	96.7
	福 井	39,657	2,836	2,043	48	38	7.15	72.0	0.121	1.69	79.2
	静 岡	238,426	14,644	8,389	132	84	6.14	57.3	0.055	0.90	63.6
	愛 知	235,510	17,169	7,541	113	41	7.29	43.9	0.048	0.66	36.3
	三 重	127,201	3,519	1,406	23	13	2.77	40.0	0.018	0.65	56.5
岐 阜	岐 阜	198,736	14,042	6,788	85	61	7.07	48.3	0.043	0.61	71.8

平成26年度 消化器がん検診全国集計

胃がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B / A 要 精検率	C / B 精検 受診率	D / A 胃癌 発見率	D / B 適中度	E / D D票 回収率
		C I 票 胃X線対象区分					X線造影				
近畿	滋 賀	86,931	4,817	2,927	53	12	5.54	60.8	0.061	1.10	22.6
	奈 良	33,287	1,452	721	17	14	4.36	49.7	0.051	1.17	82.4
	京 都	171,723	12,388	2,997	54	15	7.21	24.2	0.031	0.44	27.8
	大 阪	413,476	19,299	11,188	212	147	4.67	58.0	0.051	1.10	69.3
	和歌山	24,641	2,128	1,135	9	8	8.64	53.3	0.037	0.42	88.9
	兵 庫	218,395	10,916	7,625	173	147	5.00	69.9	0.079	1.58	85.0
中国四国	鳥 取	29,974	2,019	1,400	29	20	6.74	69.3	0.097	1.44	69.0
	島 根	41,594	3,005	1,925	50	44	7.22	64.1	0.120	1.66	88.0
	岡 山	83,469	2,893	1,781	42	2	3.47	61.6	0.050	1.45	4.8
	広 島	86,405	4,756	2,861	79	45	5.50	60.2	0.091	1.66	57.0
	山 口	38,007	3,514	1,371	15	0	9.25	39.0	0.039	0.43	0.0
	香 川	32,909	2,017	1,825	57	47	6.13	90.5	0.173	2.83	82.5
	徳 島	25,758	2,554	2,022	34	28	9.92	79.2	0.132	1.33	82.4
	愛 媛	103,166	6,974	5,369	121	104	6.76	77.0	0.117	1.74	86.0
	高 知	98,791	3,561	2,648	62	52	3.60	74.4	0.063	1.74	83.9
九州	福 岡	428,516	26,911	14,531	184	131	6.28	54.0	0.043	0.68	71.2
	佐 賀	30,701	3,310	2,764	43	43	10.78	83.5	0.140	1.30	100.0
	長 崎	35,318	2,439	1,819	31	24	6.91	74.6	0.088	1.27	77.4
	熊 本	116,029	4,550	3,443	67	67	3.92	75.7	0.058	1.47	100.0
	大 分	97,595	5,268	4,166	50	32	5.40	79.1	0.051	0.95	64.0
	宮 崎	57,440	3,545	2,643	38	30	6.17	74.6	0.066	1.07	78.9
	鹿児島	122,248	11,299	9,715	113	102	9.24	86.0	0.092	1.00	90.3
	沖 縄	133,827	5,480	2,686	20	15	4.09	49.0	0.015	0.36	75.0

平成26年度 消化器がん検診全国集計

大腸がん検診		A	B	C	D	E	B/A	C/B	D/A	D/B	E/D
		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
		C I 票 検便法				検便法					
全 国		7,862,837	484,869	268,661	10,286	7,085	6.17	55.4	0.131	2.12	68.9
支 部 別	北海道	375,033	27,757	18,171	693	611	7.40	65.5	0.185	2.50	88.2
	東 北	1,179,679	73,246	49,792	1,863	1,755	6.21	68.0	0.158	2.54	94.2
	関東甲信越	2,258,363	146,657	76,190	3,361	1,344	6.49	52.0	0.149	2.29	40.0
	東海北陸	1,045,950	62,421	27,409	989	716	5.97	43.9	0.095	1.58	72.4
	近 畿	916,030	50,503	24,509	1,004	845	5.51	48.5	0.110	1.99	84.2
	中国四国	566,605	32,124	19,307	711	537	5.67	60.1	0.125	2.21	75.5
	九 州	1,521,177	92,161	53,283	1,665	1,277	6.06	57.8	0.109	1.81	76.7
北海道	北海道	375,033	27,757	18,171	693	611	7.40	65.5	0.185	2.50	88.2
東 北	青 森	162,030	10,327	7,298	228	211	6.37	70.7	0.141	2.21	92.5
	岩 手	238,544	12,835	8,936	408	400	5.38	69.6	0.171	3.18	98.0
	秋 田	125,857	8,917	5,919	217	190	7.09	66.4	0.172	2.43	87.6
	宮 城	183,007	9,313	5,015	276	225	5.09	53.8	0.151	2.96	81.5
	山 形	273,808	16,119	11,051	367	363	5.89	68.6	0.134	2.28	98.9
	福 島	196,433	15,735	11,573	367	366	8.01	73.5	0.187	2.33	99.7
関 東 甲 信 越	茨 城	204,937	14,792	10,172	419	372	7.22	68.8	0.204	2.83	88.8
	群 馬	127,765	8,535	5,642	274	171	6.68	66.1	0.214	3.21	62.4
	栃 木	116,680	6,787	4,438	176	170	5.82	65.4	0.151	2.59	96.6
	埼 玉	105,046	6,758	3,369	182	174	6.43	49.9	0.173	2.69	95.6
	千 葉	275,240	20,630	10,630	410	93	7.50	51.5	0.149	1.99	22.7
	東 京	220,713	15,328	6,953	214	180	6.94	45.4	0.097	1.40	84.1
	神奈川	578,824	37,313	12,601	824	29	6.45	33.8	0.142	2.21	3.5
	山 梨	136,602	7,869	4,518	122	45	5.76	57.4	0.089	1.55	36.9
	長 野	164,438	10,737	6,543	229	43	6.53	60.9	0.139	2.13	18.8
東 海 北 陸	新 潟	328,118	17,908	11,324	511	67	5.46	63.2	0.156	2.85	13.1
	富 山	67,384	3,954	2,331	90	49	5.87	59.0	0.134	2.28	54.4
	石 川	88,227	5,072	3,605	138	138	5.75	71.1	0.156	2.72	100.0
	福 井	58,004	3,168	2,217	103	94	5.46	70.0	0.178	3.25	91.3
	静 岡	355,163	20,721	9,788	336	290	5.83	47.2	0.095	1.62	86.3
	愛 知	178,091	11,392	4,874	163	43	6.40	42.8	0.092	1.43	26.4
	三 重	130,874	7,315	2,024	58	36	5.59	27.7	0.044	0.79	62.1
岐 阜	岐 阜	168,207	10,799	2,570	101	66	6.42	23.8	0.060	0.94	65.3

平成26年度 消化器がん検診全国集計

大腸がん検診		A	B	C	D	E	B/A	C/B	D/A	D/B	E/D
		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
		C I 票 検便法				検便法					
近畿	滋賀	75,881	5,186	4,116	235	230	6.83	79.4	0.310	4.53	97.9
	奈良	24,119	1,351	592	21	19	5.60	43.8	0.087	1.55	90.5
	京都	170,671	8,472	1,212	35	35	4.96	14.3	0.021	0.41	100.0
	大阪	356,401	18,708	9,138	332	251	5.25	48.8	0.093	1.77	75.6
	和歌山	21,159	1,311	449	20	17	6.20	34.2	0.095	1.53	85.0
	兵庫	267,799	15,475	9,002	361	293	5.78	58.2	0.135	2.33	81.2
中国四国	鳥取	44,867	3,106	1,771	78	57	6.92	57.0	0.174	2.51	73.1
	島根	65,166	3,507	2,223	114	72	5.38	63.4	0.175	3.25	63.2
	岡山	34,609	2,301	1,328	33	2	6.65	57.7	0.095	1.43	6.1
	広島	64,487	3,934	2,308	120	120	6.10	58.7	0.186	3.05	100.0
	山口	48,328	2,623	880	35	1	5.43	33.5	0.072	1.33	2.9
	香川	27,505	1,531	1,155	36	32	5.57	75.4	0.131	2.35	88.9
	徳島	24,343	2,190	1,315	34	34	9.00	60.0	0.140	1.55	100.0
	愛媛	154,234	9,139	5,996	166	138	5.93	65.6	0.108	1.82	83.1
	高知	103,066	3,793	2,331	95	81	3.68	61.5	0.092	2.50	85.3
九州	福岡	532,836	31,391	14,371	477	394	5.89	45.8	0.090	1.52	82.6
	佐賀	55,759	4,186	2,942	104	104	7.51	70.3	0.187	2.48	100.0
	長崎	54,963	3,794	2,612	139	117	6.90	68.8	0.253	3.66	84.2
	熊本	242,380	14,003	9,949	271	271	5.78	71.0	0.112	1.94	100.0
	大分	133,030	7,654	4,929	145	92	5.75	64.4	0.109	1.89	63.4
	宮崎	116,584	8,672	5,616	179	32	7.44	64.8	0.154	2.06	17.9
	鹿児島	142,764	9,564	6,461	171	137	6.70	67.6	0.120	1.79	80.1
	沖縄	242,861	12,897	6,403	179	130	5.31	49.6	0.074	1.39	72.6

本稿で発表できなかった集計資料は、平成26年度消化器がん検診全国集計資料集（1部5,000円、送料別）としてまとめてありますので、ご希望の方は学会ホームページの注文書をダウンロードのうえ、お申し込み下さい。